平成 29 年度

地域おこし協力隊に関する調査

調査研究報告書

平成 30 年 2 月

DBJ 日本政策投資銀行グループ
株式会社価値総合研究所

※本調査は、一般社団法人 移住・交流推進機構が株式会社 価値総合研究所に委託し実施いたしました。

目　次

I.　調査の実施概要 1
1. 実施概要 1
2. 回答状況 1

II. 集計結果 2
1. 回答者の属性 2
2. 地域おこし協力隊応募の経緯..... 4
3. 地域おこし協力隊としての活動状況..... 9
4. 今後の課題、意向等..... 18

III. 地域おこし協力隊の現状と課題（集計概要と総括） 27

Ⅰ. 調査の実施概要

1. 実施概要

(1) 対象

- 全国の地域おこし協力隊員

(2) 方法

- 総務省から都道府県→市町村経由で隊員に電子ファイルを配布。　回収は隊員から JOIN アンケート返信アドレスに直接送信

(3) 調査時期

- 平成 29 年 11 月 17 日～12 月 8 日

2. 回答状況

(1) 回答者数

- 1,811 名

(2) 参考：過年度の回答者数

- H24 年度：　278 名
- H25 年度：　412 名
- H26 年度：　600 名
- H27 年度：　919 名
- H28 年度：1,380 名

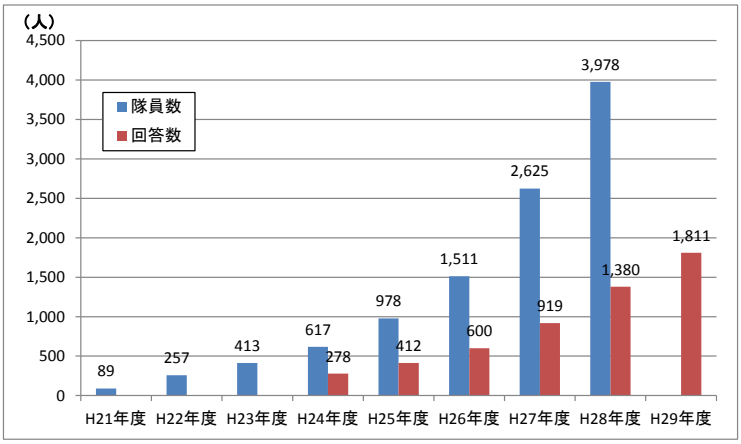


図-地域おこし効力隊員数と回答者数の推移
（隊員数は総務省発表の各年度特交ベースによる）

(3) 都道府県別の回答者数

都道府県	回答者数	都道府県	回答者数	都道府県	回答者数	都道府県	回答者数
北海道	281	東京都	14	滋賀県	19	香川県	9
青森県	17	神奈川県	2	京都府	28	愛媛県	30
岩手県	54	新潟県	42	大阪府	1	高知県	42
宮城県	35	富山県	16	兵庫県	45	福岡県	57
秋田県	33	石川県	19	奈良県	47	佐賀県	9
山形県	42	福井県	20	和歌山県	20	長崎県	34
福島県	43	山梨県	46	鳥取県	30	熊本県	33
茨城県	41	長野県	128	島根県	67	大分県	48
栃木県	31	岐阜県	34	岡山県	45	宮崎県	33
群馬県	21	静岡県	26	広島県	35	鹿児島県	86
埼玉県	10	愛知県	11	山口県	34	沖縄県	34
千葉県	10	三重県	23	徳島県	24	計	1,809

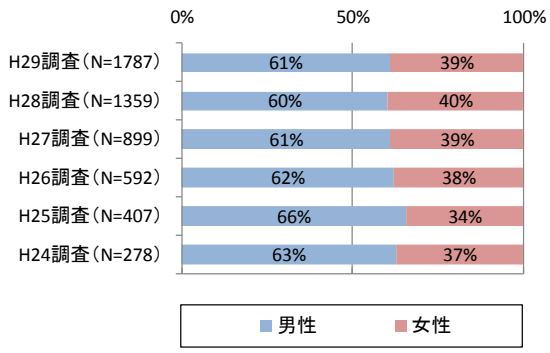
※無回答を除く

II. 集計結果

1. 回答者の属性

（1）性別

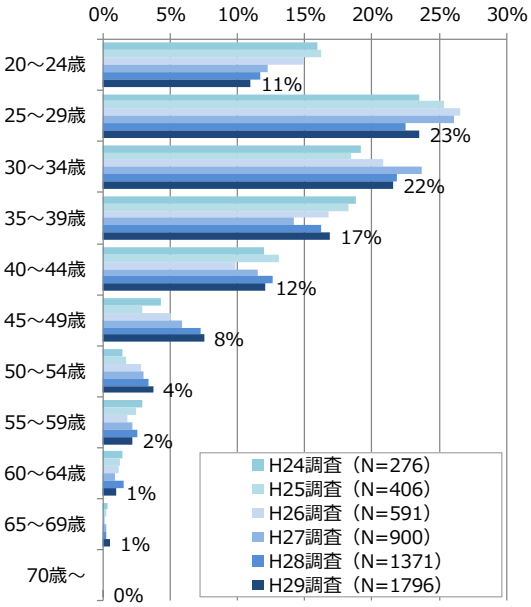
選択肢	回答数	割合
男性	1086	61%
女性	701	39%
計	1787	100%



（2）年齢

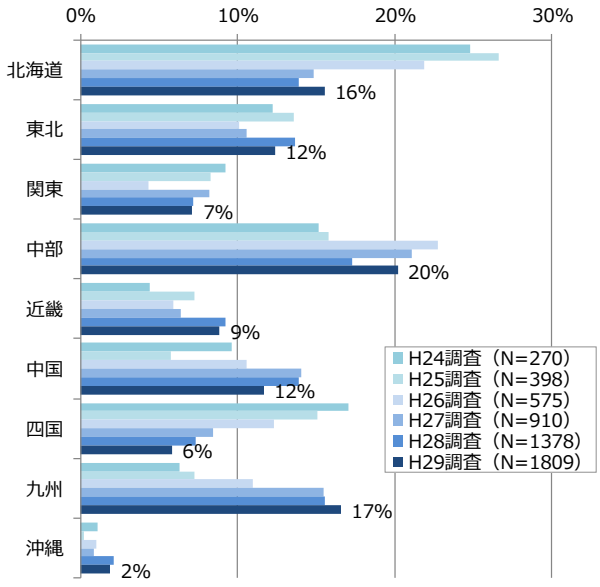
年齢階級	回答数	割合
20～24歳	197	11%
25～29歳	422	23%
30～34歳	387	22%
35～39歳	303	17%
40～44歳	216	12%
45～49歳	135	8%
50～54歳	67	4%
55～59歳	40	2%
60～64歳	18	1%
65～69歳	10	1%
70歳～	1	0%
計	1796	100%

回答者平均年齢（H29）	34.7 歳
H28調査	34.7 歳
H27調査	33.7 歳
H26調査	33.2 歳
H25調査	32.8 歳
H24調査	33.3 歳



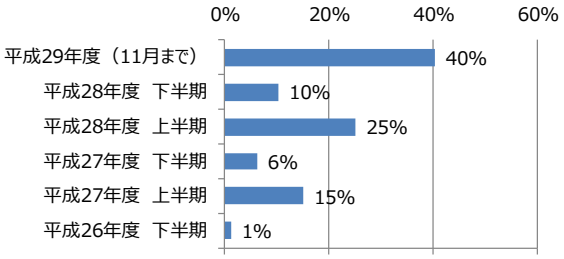
（3）現在の任地

地方ブロック	回答数	割合
北海道	281	16%
東北	224	12%
関東	129	7%
中部	365	20%
近畿	160	9%
中国	211	12%
四国	105	6%
九州	300	17%
沖縄	34	2%
計	1809	100%



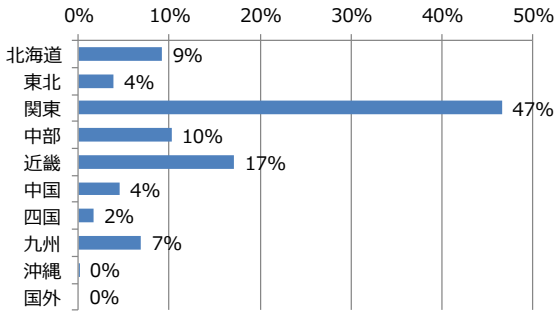
（４）赴任時期

区分	回答数	割合
平成26年度　下半期	21	1%
平成27年度　上半期	272	15%
平成27年度　下半期	111	6%
平成28年度　上半期	452	25%
平成28年度　下半期	186	10%
平成29年度（11月まで）	726	40%
計	1768	98%



（５）赴任直前の住所

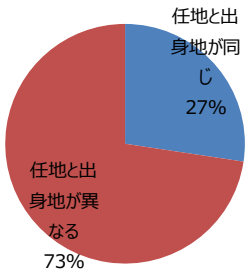
地方ブロック	回答数	割合
北海道	165	9%
東北	69	4%
関東	840	47%
中部	184	10%
近畿	309	17%
中国	81	4%
四国	29	2%
九州	124	7%
沖縄	1	0%
国外	0	0%
計	1802	100%



（６）赴任地と出身地の関係

区分	回答数	割合
任地と出身地が同じ	483	27%
任地と出身地が異なる	1281	73%
計	1764	100%

※同じ＝同一都道府県

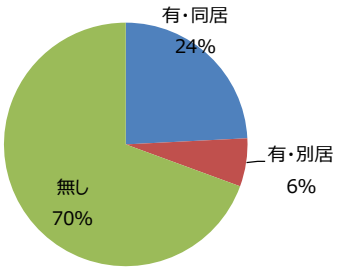


＜日本以外の国籍＞

中国（２）	コスタリカ
台湾	フランス
マレーシア	イギリス
米国（２）	ドイツ
	スペイン

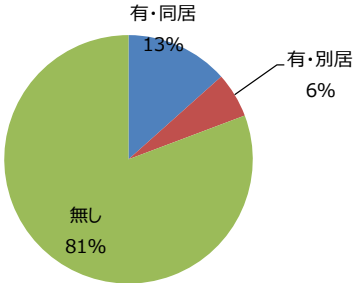
（７）配偶者

区分	回答数	割合
有・同居	435	24%
有・別居	115	6%
無し	1248	69%
計	1798	100%



（８）子ども

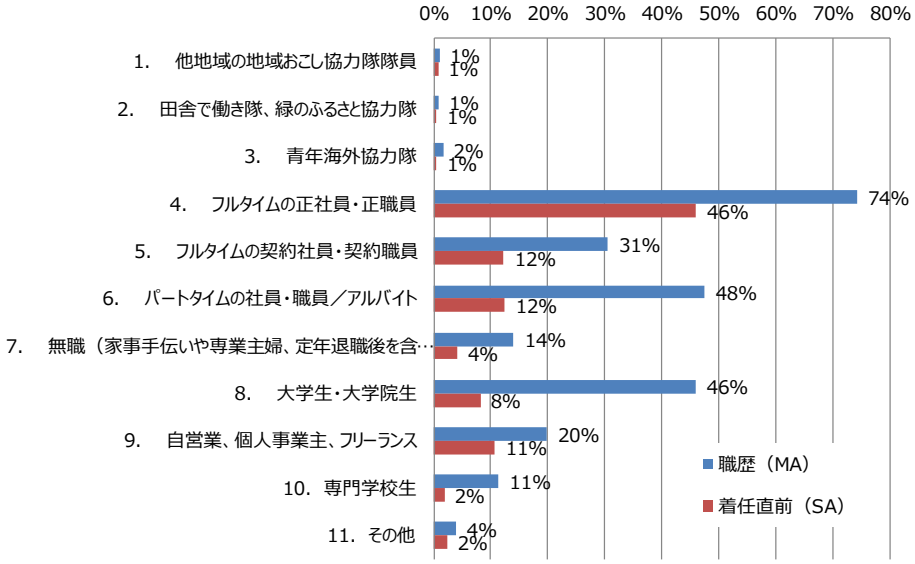
区分	回答数	割合
有・同居	238	13%
有・別居	104	6%
無し	1433	80%
計	1775	99%



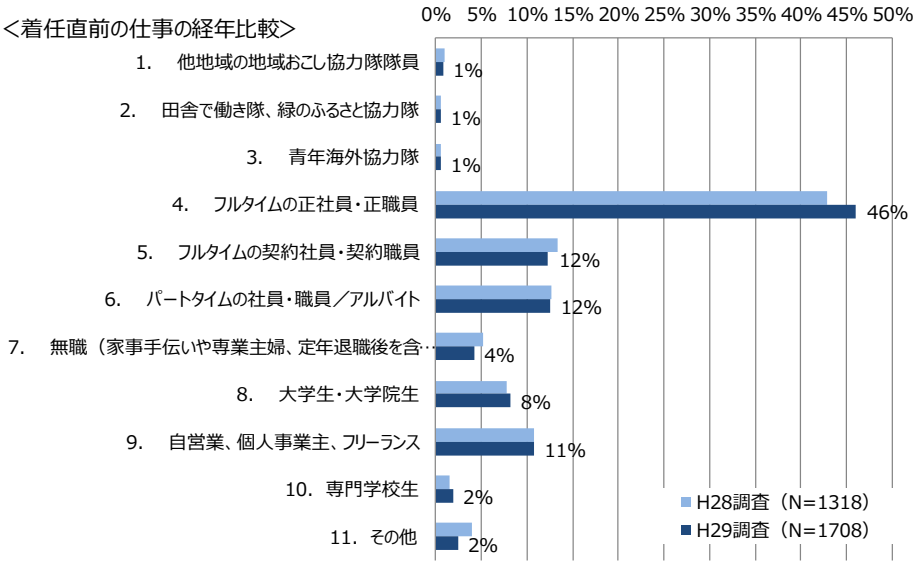
2. 地域おこし協力隊応募の経緯

質問１　あなたが、「地域おこし協力隊」に就く前、どのようなお仕事についていましたか。

	職歴（MA）		着任直前（SA）	
	回答数	割合	回答数	割合
1.　他地域の地域おこし協力隊隊員	19	1%	13	1%
2.　田舎で働き隊、緑のふるさと協力隊	16	1%	9	1%
3.　青年海外協力隊	30	2%	9	1%
4.　フルタイムの正社員・正職員	1337	74%	786	46%
5.　フルタイムの契約社員・契約職員	551	31%	210	12%
6.　パートタイムの社員・職員／アルバイト	856	48%	213	12%
7.　無職（家事手伝いや専業主婦、定年退職後を含む）	253	14%	72	4%
8.　大学生・大学院生	828	46%	140	8%
9.　自営業、個人事業主、フリーランス	358	20%	183	11%
10.　専門学校生	205	11%	32	2%
11.　その他	72	4%	41	2%
回答者数	1802	100%	1708	100%

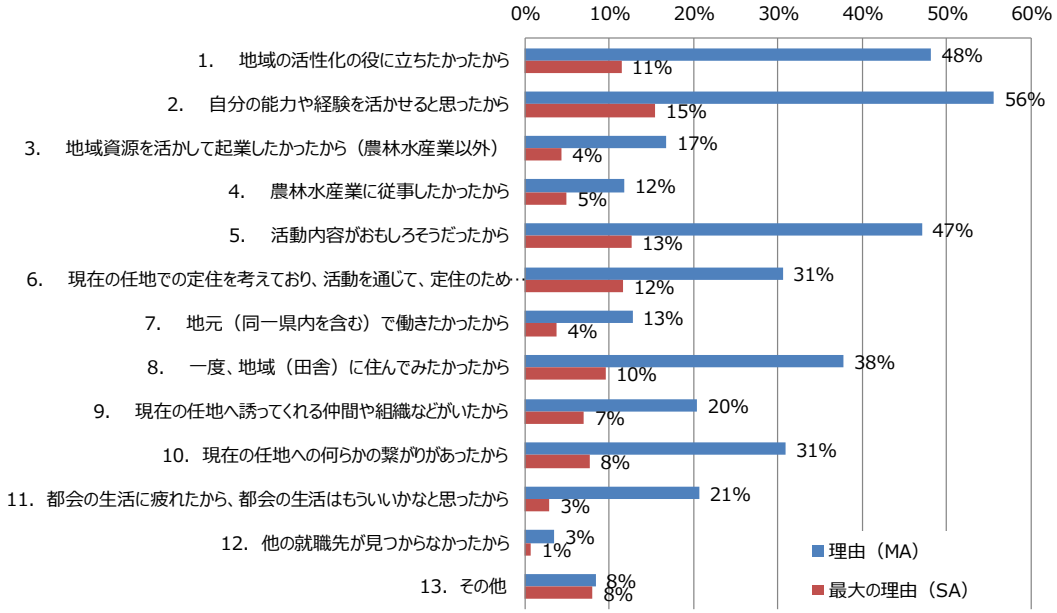


＜着任直前の仕事の経年比較＞

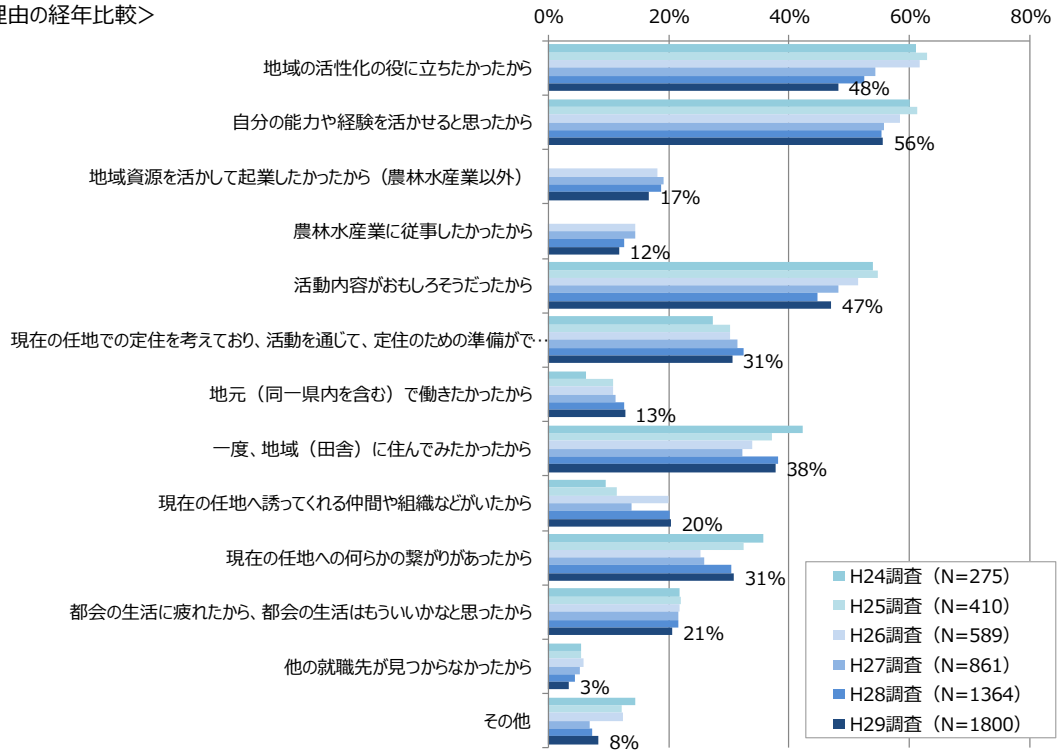


質問２　あなたが「地域おこし協力隊」に応募した理由は何ですか。

	理由（MA）		最大の理由（SA）	
	回答数	割合	回答数	割合
1.　地域の活性化の役に立ちたかったから	867	48%	197	11%
2.　自分の能力や経験を活かせると思ったから	1001	56%	267	15%
3.　地域資源を活かして起業したかったから（農林水産業以外）	302	17%	75	4%
4.　農林水産業に従事したかったから	212	12%	85	5%
5.　活動内容がおもしろそうだったから	847	47%	218	13%
6.　現在の任地での定住を考えており、活動を通じて、定住のための準備ができると思ったから	550	31%	201	12%
7.　地元（同一県内を含む）で働きたかったから	229	13%	65	4%
8.　一度、地域（田舎）に住んでみたかったから	680	38%	165	10%
9.　現在の任地へ誘ってくれる仲間や組織などがいたから	368	20%	121	7%
10.　現在の任地への何らかの繋がりがあったから	556	31%	132	8%
11.　都会の生活に疲れたから、都会の生活はもういいかなと思ったから	372	21%	50	3%
12.　他の就職先が見つからなかったから	62	3%	12	1%
13.　その他	150	8%	138	8%
回答者数	1800	100%	1726	100%

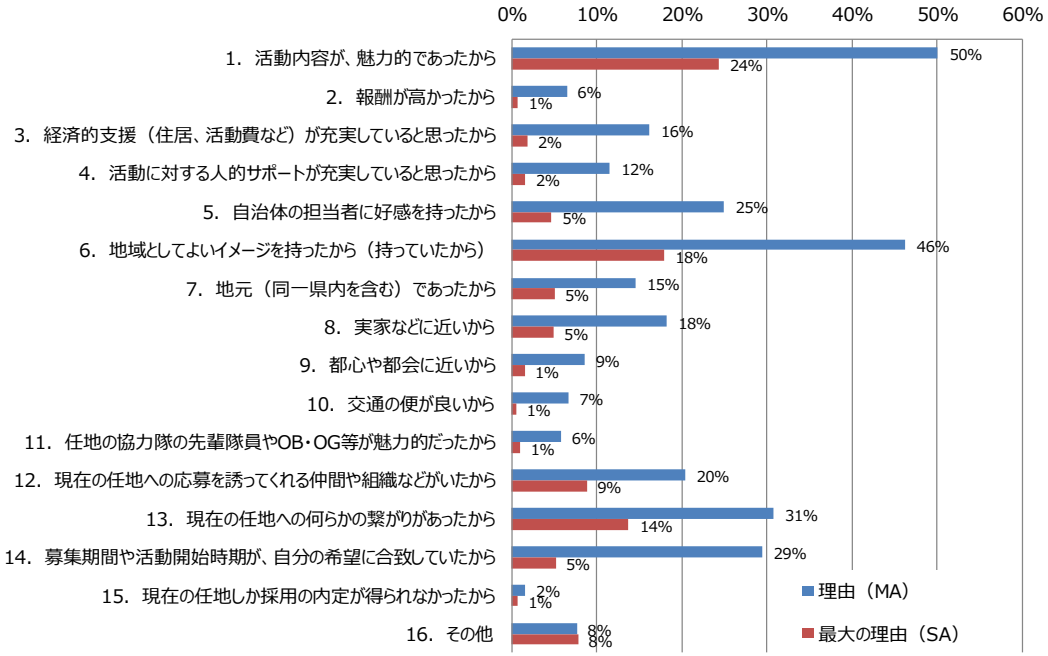


＜理由の経年比較＞



質問３　あなたが、現在の任地を選んだ理由は何ですか。

	理由（MA）		最大の理由（SA）	
	回答数	割合	回答数	割合
1．活動内容が、魅力的であったから	897	50%	425	24%
2．報酬が高かったから	116	6%	13	1%
3．経済的支援（住居、活動費など）が充実していると思ったから	290	16%	32	2%
4．活動に対する人的サポートが充実していると思ったから	206	12%	28	2%
5．自治体の担当者に好感を持ったから	447	25%	82	5%
6．地域としてよいイメージを持ったから（持っていたから）	828	46%	313	18%
7．地元（同一県内を含む）であったから	260	15%	88	5%
8．実家などに近いから	326	18%	86	5%
9．都心や都会に近いから	154	9%	26	1%
10．交通の便が良いから	120	7%	9	1%
11．任地の協力隊の先輩隊員やOB・OG等が魅力的だったから	104	6%	17	1%
12．現在の任地への応募を誘ってくれる仲間や組織などがいたから	365	20%	154	9%
13．現在の任地への何らかの繋がりがあったから	551	31%	240	14%
14．募集期間や活動開始時期	527	29%	90	5%
15．現在の任地しか採用の内定が得られなかったから	29	2%	12	1%
16．その他	137	8%	136	8%
回答者数	1791	100%	1751	100%

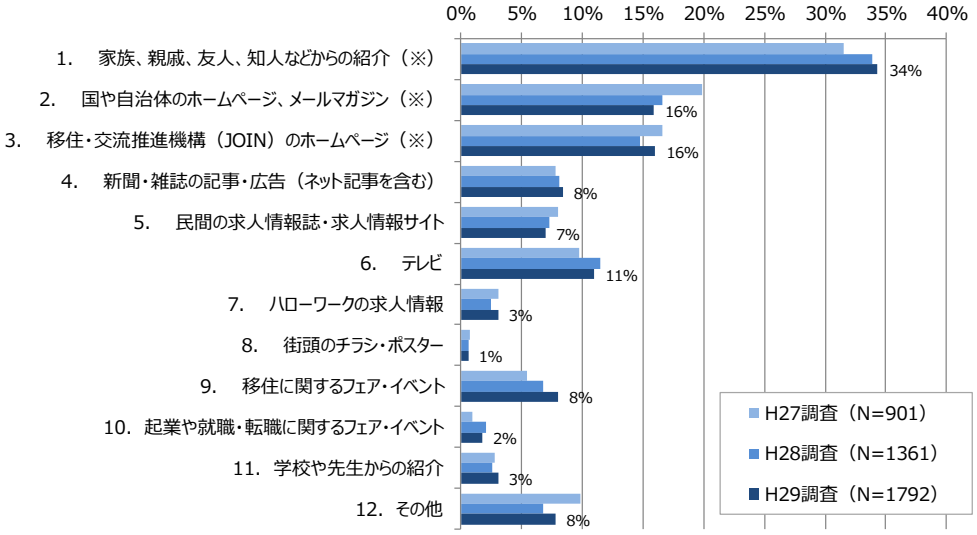


質問４　あなたが、はじめて「地域おこし協力隊」のことを知ったきっかけは、どの媒体・ルートからですか。

（MA）

	回答数	割合
1.　家族、親戚、友人、知人などからの紹介（※）	615	34%
2.　国や自治体のホームページ、メールマガジン（※）	284	16%
3.　移住・交流推進機構（JOIN）のホームページ（※）	286	16%
4.　新聞・雑誌の記事・広告（ネット記事を含む）	151	8%
5.　民間の求人情報誌・求人情報サイト	125	7%
6.　テレビ	196	11%
7.　ハローワークの求人情報	55	3%
8.　街頭のチラシ・ポスター	11	1%
9.　移住に関するフェア・イベント	144	8%
10.　起業や就職・転職に関するフェア・イベント	32	2%
11.　学校や先生からの紹介	55	3%
12.　その他	140	8%
回答者数	1792	100%

※ブログ、SNS（FACEBOOK、LINE等）も含む



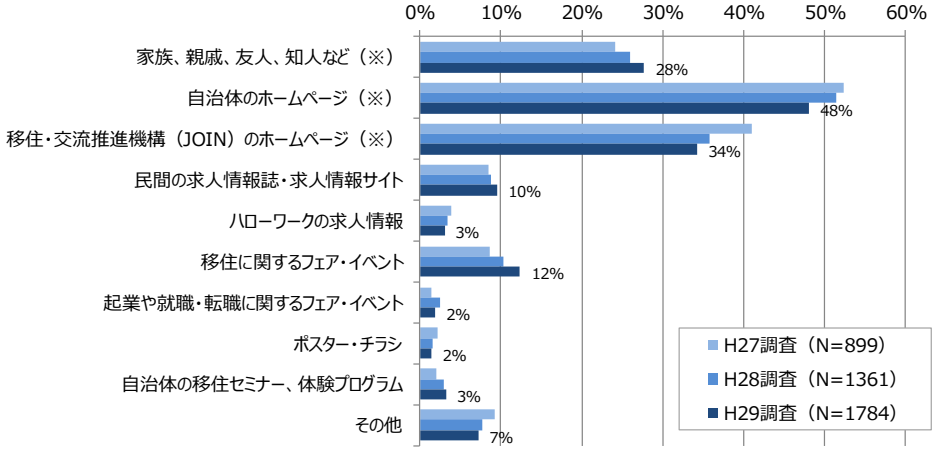
※12.　その他　の記入例　：役場からの紹介、転職サイト　等

質問５　あなたが、現在活動している地域の「地域おこし協力隊」に応募するにあたり、募集要項や地域の情報を得たのはどのような媒体・ルートからですか。

（MA）

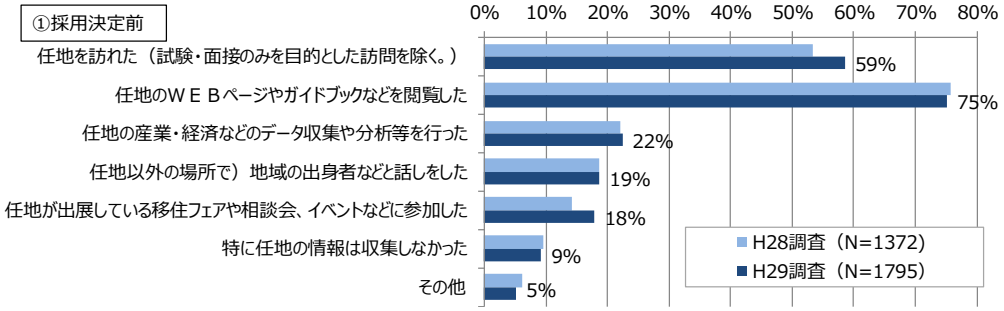
	回答数	割合
1.　家族、親戚、友人、知人など（※）	494	28%
2.　自治体のホームページ（※）	856	48%
3.　移住・交流推進機構（JOIN）のホームページ（※）	610	34%
4.　民間の求人情報誌・求人情報サイト	170	10%
5.　ハローワークの求人情報	55	3%
6.　移住・地域おこし協力隊に関するフェア・イベント	221	12%
7.　起業や就職・転職に関するフェア・イベント	35	2%
8.　ポスター・チラシ	27	2%
9.　自治体の移住セミナー、体験プログラム	59	3%
10.　その他	130	7%
回答者数	1784	100%

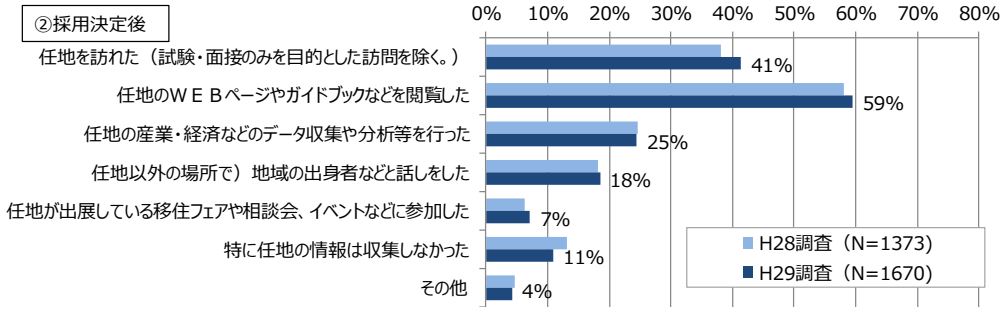
※ブログ、ＳＮＳ（FACEBOOK、LINE等）も含む



質問６　あなたは、応募から試験（面接）、採用決定（内定）、着任までの期間において、現在着任している地域を理解するためにどのような情報収集活動をしましたか。

	①採用決定前（応募～面接～内定までの期間）に実施したもの		②採用決定後（内定～着任までの期間）に実施したもの	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 任地を訪れた（但し、試験・面接のみを目的とした訪問を除く。）	1051	59%	744	41%
2. 任地のＷＥＢページやガイドブックなどを閲覧した	1348	75%	1068	59%
3. 任地の産業・経済などのデータ収集や分析等を行った	403	22%	440	25%
4. （任地以外の場所で）地域の出身者などと話しをした	336	19%	332	18%
5. 任地が出展している移住フェアや相談会、イベントなどに参加した	322	18%	128	7%
6. 特に任地の情報は収集しなかった	165	9%	196	11%
7. その他	92	5%	75	4%
計	1795	100%	1670	93%

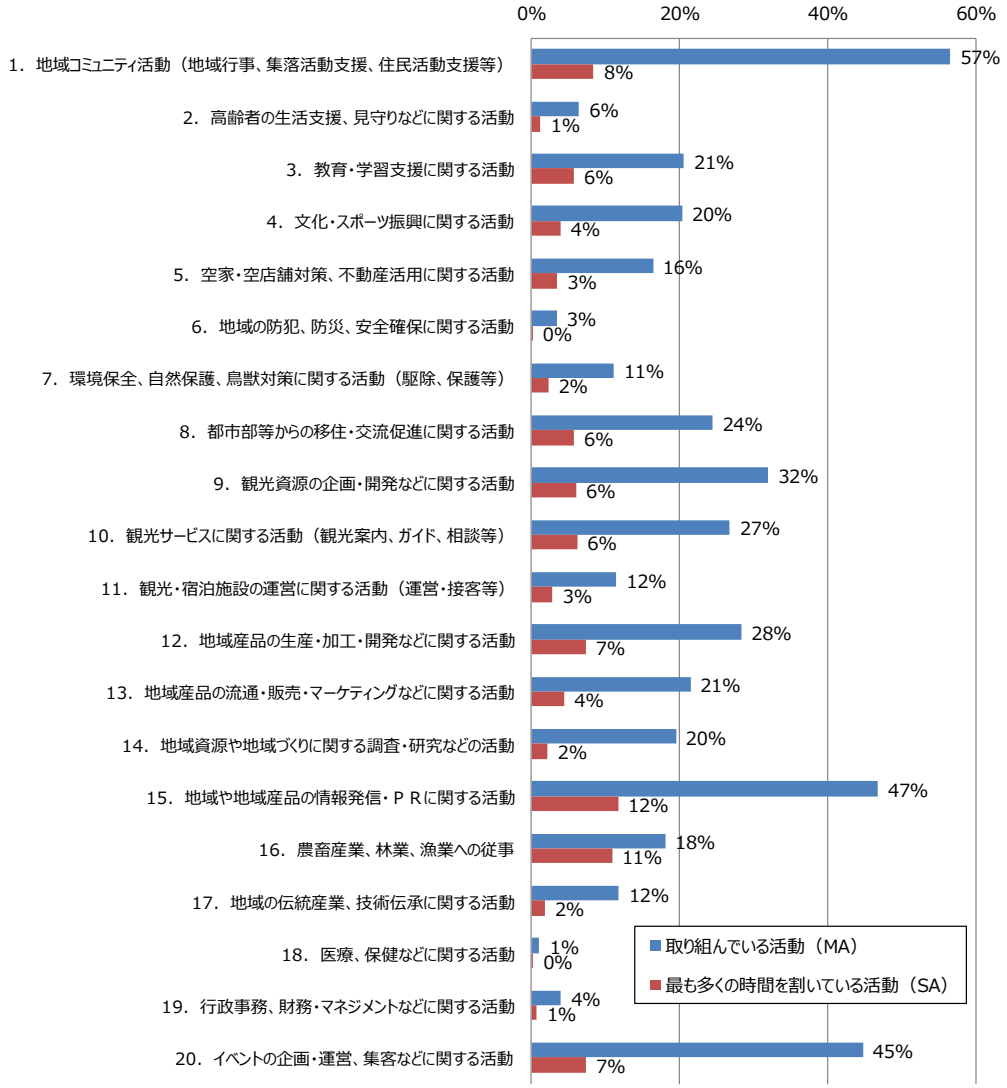




3. 地域おこし協力隊としての活動状況

質問7　現在、あなたは、「地域おこし協力隊」としてどのような活動に取り組んでいますか。

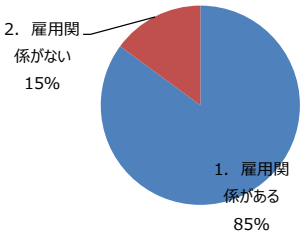
	取り組んでいる活動（MA）		最も多くの時間を割いている活動（SA）	
	回答数	割合	回答数	割合
1. 地域コミュニティ活動（地域行事、集落活動支援、住民活動支援等）	1016	57%	150	8%
2. 高齢者の生活支援、見守りなどに関する活動	116	6%	22	1%
3. 教育・学習支援に関する活動	371	21%	102	6%
4. 文化・スポーツ振興に関する活動	366	20%	70	4%
5. 空家・空店舗対策、不動産活用に関する活動	295	16%	62	3%
6. 地域の防犯、防災、安全確保に関する活動	61	3%	3	0%
7. 環境保全、自然保護、鳥獣対策に関する活動（駆除、保護等）	201	11%	41	2%
8. 都市部等からの移住・交流促進に関する活動	440	24%	102	6%
9. 観光資源の企画・開発などに関する活動	575	32%	107	6%
10. 観光サービスに関する活動（観光案内、ガイド、相談等）	482	27%	110	6%
11. 観光・宿泊施設の運営に関する活動（運営・接客等）	207	12%	51	3%
12. 地域産品の生産・加工・開発などに関する活動	510	28%	130	7%
13. 地域産品の流通・販売・マーケティングなどに関する活動	386	21%	79	4%
14. 地域資源や地域づくりに関する調査・研究などの活動	351	20%	39	2%
15. 地域や地域産品の情報発信・ＰＲに関する活動	841	47%	209	12%
16. 農畜産業、林業、漁業への従事	325	18%	194	11%
17. 地域の伝統産業、技術伝承に関する活動	213	12%	32	2%
18. 医療、保健などに関する活動	20	1%	4	0%
19. 行政事務、財務・マネジメントなどに関する活動	72	4%	13	1%
20. イベントの企画・運営、集客などに関する活動	804	45%	131	7%
21. その他	142	8%	127	7%
回答者数	1796	100%	1778	100%



質問８　あなたは、受入自治体との間で雇用関係がありますか。

（SA）

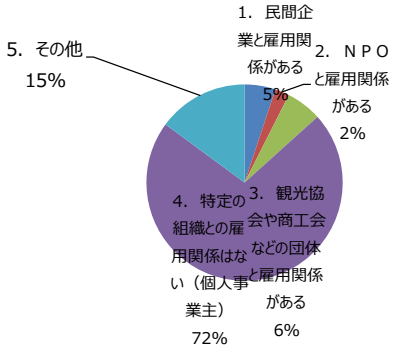
	回答数	割合
1. 雇用関係がある	1531	85%
2. 雇用関係がない	269	15%
計	1800	100%



質問９　質問８で、受入自治体との間で、「２．雇用関係がない」と回答した方にお尋ねします。
他の団体等との雇用関係がありますか。

（SA）

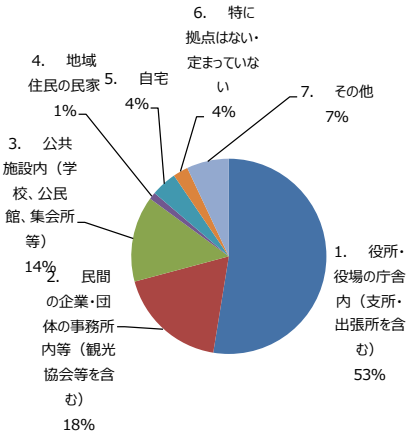
	回答数	割合
1. 民間企業と雇用関係がある	13	5%
2. ＮＰＯと雇用関係がある	6	2%
3. 観光協会や商工会などの団体と雇用関係がある	15	6%
4. 特定の組織との雇用関係はない（個人事業	183	72%
5. その他	38	15%
計	255	100%



質問10　あなたの、主な活動の拠点（事務所など、自分のデスクがある場所）はどういったところですか。

（SA）

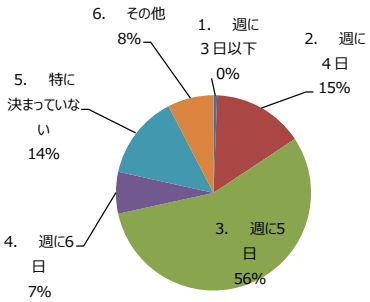
	回答数	割合
1. 役所・役場の庁舎内（支所・出張所を含む）	946	53%
2. 民間の企業・団体の事務所内等（観光協会等を含む）	329	18%
3. 公共施設内（学校、公民館、集会所等）	256	14%
4. 地域住民の民家	21	1%
5. 自宅	77	4%
6. 特に拠点はない・定まっていない	45	3%
7. その他	126	7%
計	1800	100%



質問11　あなたの、地域おこし協力隊としての活動日数はどのくらいですか。

（SA）

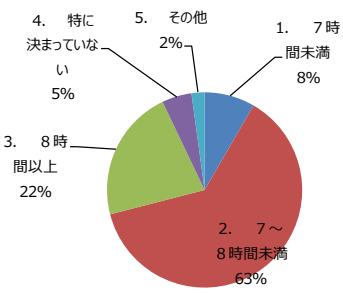
	回答数	割合
1. 週に３日以下	11	1%
2. 週に４日	271	15%
3. 週に5日	1004	56%
4. 週に6日	124	7%
5. 特に決まっていない	250	14%
6. その他	137	8%
計	1797	100%



質問12　あなたの、地域おこし協力隊としての１日の活動時間はどのくらいですか。

（SA）

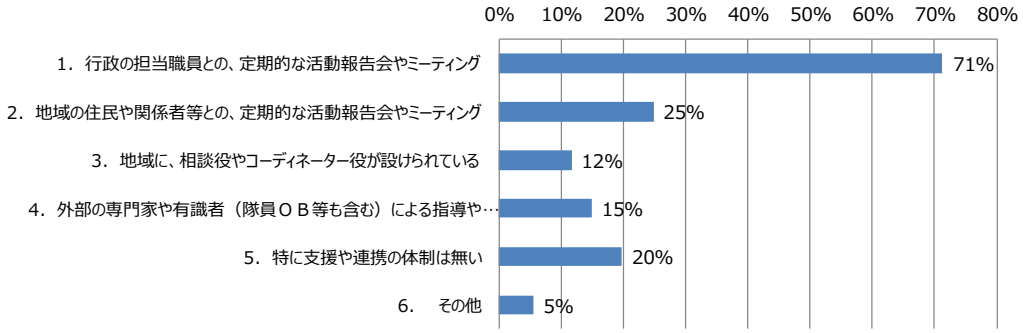
	回答数	割合
1. ７時間未満	151	8%
2. ７～８時間未満	1131	63%
3. ８時間以上	396	22%
4. 特に決まっていない	89	5%
5. その他	39	2%
計	1806	100%



質問13　あなたが「地域おこし協力隊」として活動するにあたり、地域にはどのような支援や連携等の体制がありますか。

（MA）

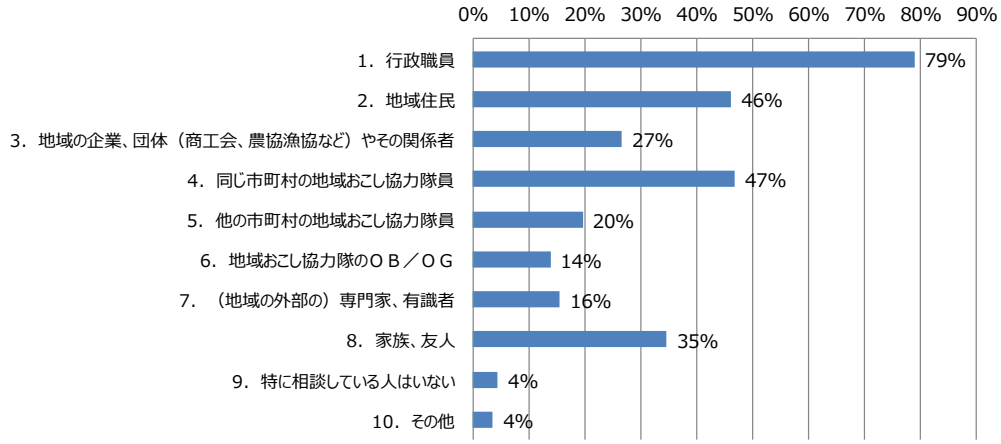
	回答数	割合
1．行政の担当職員との、定期的な活動報告会やミーティング	1274	71%
2．地域の住民や関係者等との、定期的な活動報告会やミーティング	443	25%
3．地域に、相談役やコーディネーター役が設けられている	208	12%
4．外部の専門家や有識者（隊員ＯＢ等も含む）による指導や助言の場	266	15%
5．特に支援や連携の体制は無い	353	20%
6．　その他	97	5%
回答者数	1787	100%



質問14　あなたが「地域おこし協力隊」として活動するにあたり、日々の活動について、どなたに相談していますか。

（MA）

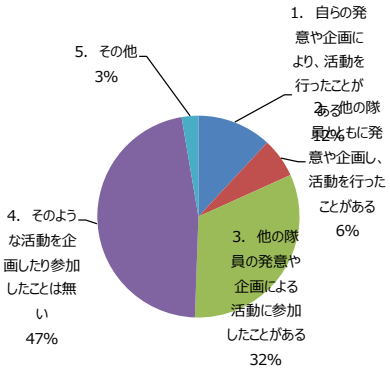
	回答数	割合
1．行政職員	1426	79%
2．地域住民	835	46%
3．地域の企業、団体（商工会、農協漁協など）やその関係者	482	27%
4．同じ市町村の地域おこし協力隊員	846	47%
5．他の市町村の地域おこし協力隊員	355	20%
6．地域おこし協力隊のＯＢ／ＯＧ	251	14%
7．（地域の外部の）専門家、有識者	282	16%
8．家族、友人	627	35%
9．特に相談している人はいない	80	4%
10．その他	65	4%
回答者数	1806	100%



質問15　あなたは、自らの発意や企画により、他の自治体の地域おこし協力隊員との連携やネットワークづくりに関する活動を行ったことはありますか。

（SA）

	回答数	割合
1. 自らの発意や企画により、活動を行ったことがある	214	12%
2. 他の隊員とともに発意や企画し、活動を行ったことがある	114	6%
3. 他の隊員の発意や企画による活動に参加したことがある	581	32%
4. そのような活動を企画したり参加したことは無い	841	47%
5. その他	48	3%
計	1798	100%



質問16　あなたが、地域おこし協力隊員としての活動において活用している（役に立っている）資格・スキル等はありますか。（普通自動車運転免許を除く）

・回答：1109 件

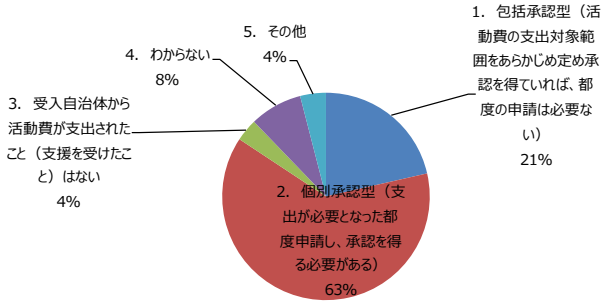
＜具体的な回答例＞

- ✓ 添乗業務をしていた経験より案内ガイドを 3 ヵ月担当
- ✓ 前職のテレビをはじめ、様々な映像制作におけるディレクターやプロデューサーの経験を活かし、動画作品を制作し、全国に情報配信。
- ✓ DTP デザインスキルを広報活動（チラシ作り、活動新聞作り、地域産物のラベル作り、その他デザイン）に活かしている。
- ✓ 英語語学スキルを、地域を訪問する外国人とのコミュニケーションなどに活かしている。
- ✓ 電気工事士の資格を、古民家改修などに活かしている。
- ✓ スキューバダイビングインストラクターの資格があり、観光協会主催ツアーのシュノーケリング教室対応をしている。
- ✓ 宅地建物取引士の知識を、空家活用事業に活かしている。
- ✓ 調理師の資格を活かし、体験型観光での郷土料理体験を企画している。また、前職の接客経験を活かし、体験型観光の現場ガイドをやっている。
- ✓ 土地家屋調査士の資格を生かし、空き家バンク相談員になっている。
- ✓ 英語・フランス語のスキルを外国人観光客や外国人取材班の受け入れに活かしている。
- ✓ ダンス・ヨサコイ・ストレッチ等の振付師としての経験を活かし、地域の皆さんへのストレッチ指導や演舞指導をしている。
- ✓ ラジオ局のアナウンサー経験を生かし、イベントやまつりなどを、テレビラジオでＰＲでき、プレスリリースも多々行える。

質問17　あなたが地域おこし協力隊員として活動する際に、受入自治体から活動費（例えば、作業道具代、消耗品代、材料費、研修費など）を支出しようとする場合、どのような手続きが必要となっていますか（※住居費、車両代、その他これらに類するものは除きます）。

（SA）

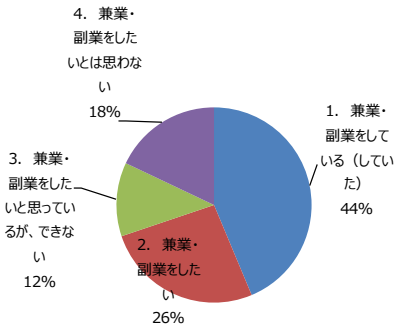
	回答数	割合
1. 包括承認型（活動費の支出対象範囲をあらかじめ定め承認を得ていれば、都度の申請は必要ない）	385	21%
2. 個別承認型（支出が必要となった都度申請し、承認を得る必要がある）	1129	63%
3. 受入自治体から活動費が支出されたこと（支援を受けたこと）はない	63	4%
4. わからない	147	8%
5. その他	72	4%
計	1796	100%



質問18　あなたは、地域おこし協力隊としての任務・活動以外の業務・労務（いわゆる兼業や副業）をしたことがありますか

（SA）

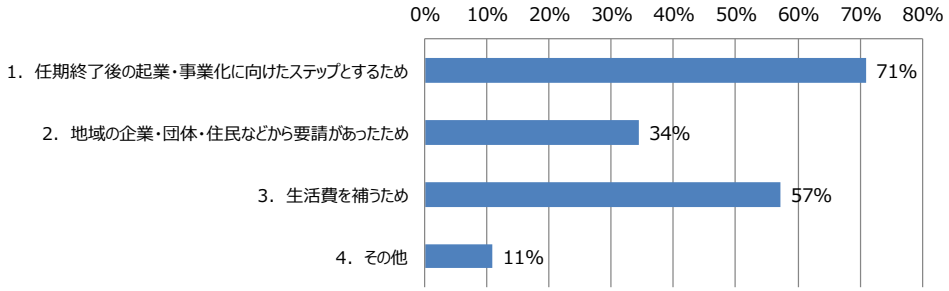
	回答数	割合
1．兼業・副業をしている（していた）	786	44%
2．兼業・副業をしたい	470	26%
3．兼業・副業をしたいと思っているが、できない	220	12%
4．兼業・副業をしたいとは思わない	323	18%
計	1799	100%



質問19　質問１８で「1．兼業・副業をしている（していた）」又は「2．兼業・副業をしたい」と回答した方にお尋ねします。
兼業・副業をしている（していた）又はしたいと思うのは、どういった理由からですか。

（MA）

	回答数	割合
1．任期終了後の起業・事業化に向けたステップとするため	879	71%
2．地域の企業・団体・住民などから要請があったため	427	34%
3．生活費を補うため	709	57%
4．その他	135	11%
回答者数	1240	100%



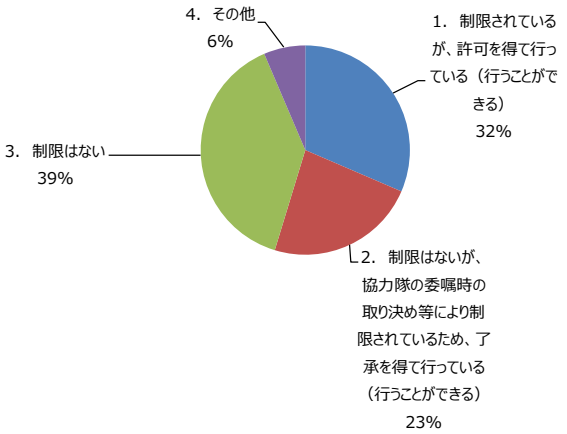
ひきつづき、質問１８で「1．兼業・副業をしている（していた）」又は「2．兼業・副業をしたい」と回答した方にお尋ねします。

質問20　兼業・副業をするにあたり制限はありますか（ありましたか）。

（SA）

	回答数	割合
1．制限されているが、許可を得て行っている（行うことができる）	387	31%
2．制限はないが、協力隊の委嘱時の取り決め等により制限されているため、了承を得て行っている（行うことができる）	286	23%
3．制限はない	478	39%
4．その他	79	6%
計	1230	100%

※制限：地方公務員法上の規定におる制限



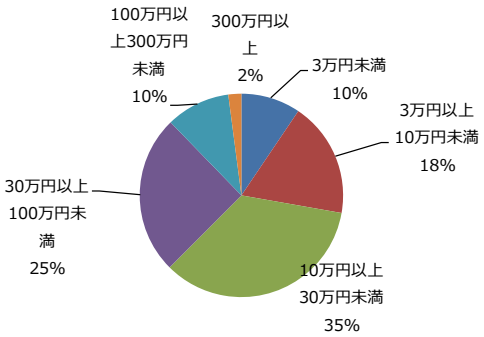
質問21　質問１８で「1．兼業・副業をしている（していた）」と回答した方にお尋ねします。
年間で、兼業や副業でどのくらいの収入がありましたか

（SA）

	回答数	割合
3万円未満	64	9%
3万円以上10万円未満	124	18%
10万円以上30万円未満	235	35%
30万円以上100万円未満	171	25%
100万円以上300万円未満	69	10%
300万円以上	14	2%
計	677	100%

※1円以上の収入があった隊員

平均収入額（1円以上の収入があった隊員）	41 万円



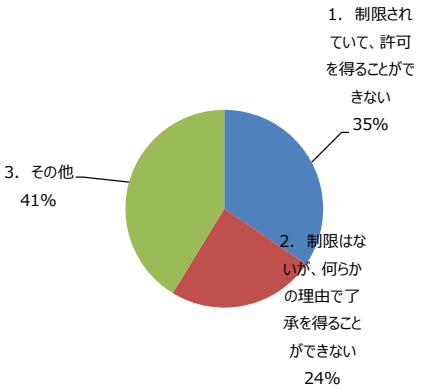
質問１８で「3．兼業・副業をしたいと思っているが、できない」と回答した方にお尋ねします。

質問22　それは、どういった理由からですか。

（SA）

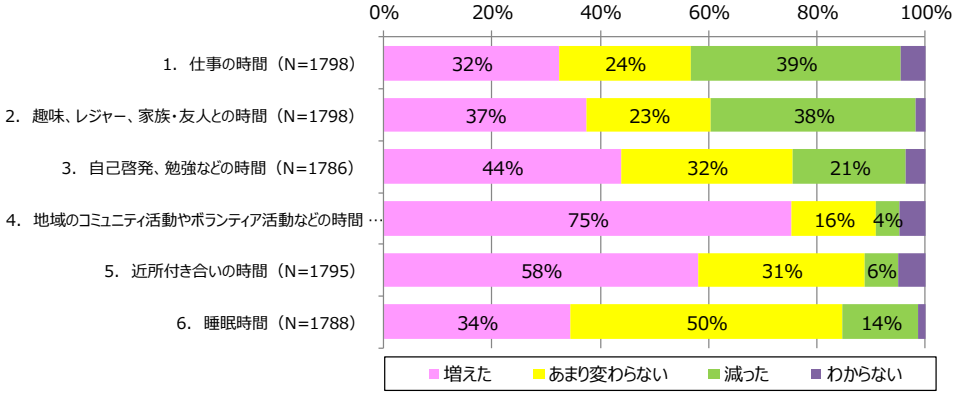
	回答数	割合
1．制限されていて、許可を得ることができない	71	34%
2．制限はないが、何らかの理由で了承を得ることができない	50	24%
3．その他	85	41%
計	206	100%

※制限：地方公務員法上の規定における制限



質問23　あなたは、地域おこし協力隊に赴任する前と現在とを比べて、時間の使い方はどうなりましたか。

	回答数					割合				
	増えた	あまり変わらない	減った	わからない	計	増えた	あまり変わらない	減った	わからない	計
1. 仕事の時間	583	435	700	80	1798	32%	24%	39%	4%	100%
2. 趣味、レジャー、家族・友人との時間	674	412	680	32	1798	37%	23%	38%	2%	100%
3. 自己啓発、勉強などの時間	782	567	373	64	1786	44%	32%	21%	4%	100%
4. 地域のコミュニティ活動やボランティア活動などの時間	1354	280	80	85	1799	75%	16%	4%	5%	100%
5. 近所付き合いの時間	1041	554	110	90	1795	58%	31%	6%	5%	100%
6. 睡眠時間	615	899	252	22	1788	34%	50%	14%	1%	100%



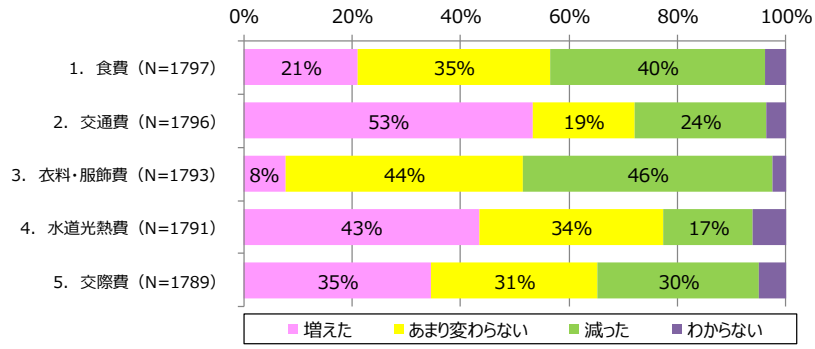
＜その他＞

〇増えた時間として回答が多くみられたもの・・・・　・食事の時間　・移動時間

〇減った時間として回答が多くみられたもの・・・・　・通勤時間　・プライベートな時間

質問24　あなたは、地域おこし協力隊に赴任する前と現在とを比べて、生活費（家計消費支出額）はどうなりましたか。

	回答数					割合				
	増えた	あまり変わらない	減った	わからない	計	増えた	あまり変わらない	減った	わからない	計
1. 食費	378	637	713	69	1797	21%	35%	40%	4%	100%
2. 交通費	956	338	436	66	1796	53%	19%	24%	4%	100%
3. 衣料・服飾費	138	785	825	45	1793	8%	44%	46%	3%	100%
4. 水道光熱費	777	608	298	108	1791	43%	34%	17%	6%	100%
5. 交際費	619	547	536	87	1789	35%	31%	30%	5%	100%



＜その他＞

〇増えた費用として回答が多くみられたもの・・・・　・車両維持費（ガソリン代含む）暖房費

〇減った費用として回答が多くみられたもの・・・・　・食事の時間　・移動時間

質問25　【項目別の期待度、満足度】

あなたが、「地域おこし協力隊」隊員として活動を開始される前の「期待度」はどの程度でしたか。また、活動を開始後、現在の活動への「満足度」はどの程度ですか。

以下の（１）～（１０）の各項目ごとに、①「事前の期待度」、②「現在の満足度」を、各項目の横の回答欄①②にそれぞれ５段階評価の番号でご記入ください。

（１）活動を通じて、自己実現を感じられること（自分の持つ能力や可能性を最大限発揮し、何かを成し遂げること）

期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	614	34%
４：やや期待していた	711	39%
３：どちらともいえない	368	20%
２：あまり期待していなかった	83	5%
１：全く期待していなかった	27	1%
回答者数	1803	100%
平均点	4.0	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	280	16%
４：やや満足	616	34%
３：どちらともいえない	566	31%
２：やや不満	223	12%
１：とても不満	112	6%
回答者	1797	100%
平均点	3.4	

期待→満足
⇩-18%
⇨-5%
⇧11%
⇧8%
⇧5%
-0.6

（２）活動そのものがおもしろいこと

期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	651	36%
４：やや期待していた	755	42%
３：どちらともいえない	296	16%
２：あまり期待していなかった	69	4%
１：全く期待していなかった	30	2%
回答者数	1801	100%
平均点	4.1	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	441	25%
４：やや満足	653	36%
３：どちらともいえない	439	24%
２：やや不満	184	10%
１：とても不満	82	5%
回答者	1799	100%
平均点	3.7	

期待→満足
⇩-12%
⇩-6%
⇧8%
⇧6%
⇧3%
-0.4

（３）地域（住民や自治体など）から自分の活動や働きが認められ、評価されること

期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	162	9%
４：やや期待していた	459	25%
３：どちらともいえない	773	43%
２：あまり期待していなかった	283	16%
１：全く期待していなかった	125	7%
回答者数	1802	100%
平均点	3.1	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	199	11%
４：やや満足	513	29%
３：どちらともいえない	855	48%
２：やや不満	163	9%
１：とても不満	70	4%
回答者	1800	100%
平均点	3.3	

期待→満足
⇧2%
⇧3%
⇧5%
⇩-7%
⇩-3%
+0.2

（４）地域の広報誌やマスコミなどで取り上げられたり、注目されたりすること

期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	63	3%
４：やや期待していた	134	7%
３：どちらともいえない	566	31%
２：あまり期待していなかった	427	24%
１：全く期待していなかった	613	34%
回答者数	1803	100%
平均点	2.2	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	195	11%
４：やや満足	411	23%
３：どちらともいえない	1013	56%
２：やや不満	98	5%
１：とても不満	81	5%
回答者	1798	100%
平均点	3.3	

期待→満足
⇧7%
⇧15%
⇧25%
⇩-18%
⇩-29%
+1.1

（５）地域（住民や自治体など）から受け入れられ、良好な人間関係を築けること

期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	290	16%
４：やや期待していた	661	37%
３：どちらともいえない	645	36%
２：あまり期待していなかった	155	9%
１：全く期待していなかった	52	3%
回答者数	1803	100%
平均点	3.5	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	444	25%
４：やや満足	735	41%
３：どちらともいえない	479	27%
２：やや不満	109	6%
１：とても不満	34	2%
回答者	1801	100%
平均点	3.8	

期待→満足
⇧9%
⇧4%
⇩-9%
⇨-3%
⇨-1%
+0.3

（６）地域に心を開ける友達がいること、できること

期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	197	11%
４：やや期待していた	433	24%
３：どちらともいえない	693	38%
２：あまり期待していなかった	284	16%
１：全く期待していなかった	194	11%
回答者数	1801	100%
平均点	3.1	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	325	18%
４：やや満足	514	29%
３：どちらともいえない	676	38%
２：やや不満	177	10%
１：とても不満	109	6%
回答者	1801	100%
平均点	3.4	

期待→満足
⇧7%
⇧4%
⇨-1%
⇩-6%
⇩-5%
+0.3

（７）報酬や活動費などにより、生活に困らないこと

期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	176	10%
４：やや期待していた	380	21%
３：どちらともいえない	638	35%
２：あまり期待していなかった	353	20%
１：全く期待していなかった	255	14%
回答者数	1802	100%
平均点	2.9	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	158	9%
４：やや満足	404	22%
３：どちらともいえない	701	39%
２：やや不満	346	19%
１：とても不満	191	11%
回答者	1800	100%
平均点	3.0	

期待→満足
-1%
1%
4%
0%
-4%
+0.1

（８）不満や不便を感じない住居に住めること

期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	152	8%
４：やや期待していた	402	22%
３：どちらともいえない	661	37%
２：あまり期待していなかった	369	20%
１：全く期待していなかった	217	12%
回答者数	1801	100%
平均点	2.9	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	338	19%
４：やや満足	598	33%
３：どちらともいえない	488	27%
２：やや不満	247	14%
１：とても不満	130	7%
回答者	1801	100%
平均点	3.4	

期待→満足
10%
11%
-10%
-7%
-5%
+0.5

（９）地域（住民、自治体、NPO法人など）が活動をバックアップしてくれること

期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	237	13%
４：やや期待していた	582	32%
３：どちらともいえない	611	34%
２：あまり期待していなかった	244	14%
１：全く期待していなかった	127	7%
回答者数	1801	100%
平均点	3.3	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	224	12%
４：やや満足	504	28%
３：どちらともいえない	647	36%
２：やや不満	290	16%
１：とても不満	136	8%
回答者	1801	100%
平均点	3.2	

期待→満足
-1%
-4%
2%
3%
0%
-0.1

（１０）活動を通じて、任期終了後の生活がイメージできるようになること（能力が高まる、定住のための準備ができるなど／その地域に定住する、しないに関わらず）

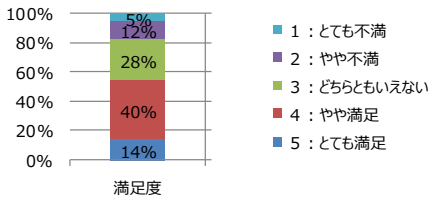
期待度	回答数	割合
５：とても期待していた	390	22%
４：やや期待していた	602	34%
３：どちらともいえない	545	30%
２：あまり期待していなかった	151	8%
１：全く期待していなかった	109	6%
回答者数	1797	100%
平均点	3.6	

満足度	回答数	割合
５：とても満足	156	9%
４：やや満足	411	23%
３：どちらともいえない	759	42%
２：やや不満	287	16%
１：とても不満	184	10%
回答者	1797	100%
平均点	3.0	

期待→満足
-13%
-11%
12%
8%
4%
-0.5

質問26　【総合評価】

満足度	回答数	割合
５：とても満足	252	14%
４：やや満足	712	40%
３：どちらともいえない	486	28%
２：やや不満	216	12%
１：とても不満	93	5%
回答者数	1759	100%
平均点	3.5	



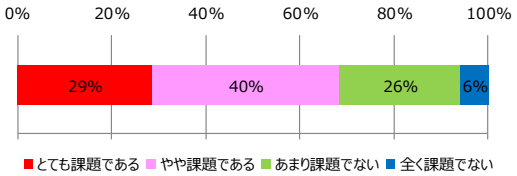
項目（期待や満足の視点）	平成24年調査（N=278）		平成25年調査（N=412）		平成26年調査（N=600）		平成27年調査（N=891）		平成28年調査（N=1360）		平成29年調査（N=1797）	
	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度
（１）活動を通じて、自己実現を感じられること	3.9	3.4	4.1	3.3	4.0	3.3	4.0	3.2	4.0	3.3	4.0	3.4
（２）活動そのものがおもしろいこと	3.9	3.7	4.1	3.7	4.1	3.7	4.1	3.6	4.1	3.6	4.1	3.7
（３）地域（住民や自治体など）から自分の活動や働きが認められ、評価されること	3.1	3.2	3.1	3.4	3.1	3.3	3.1	3.3	3.2	3.3	3.1	3.3
（４）地域の広報誌やマス媒体などで取り上げられたり、注目されたりすること	2.2	3.3	2.3	3.4	2.2	3.3	2.3	3.3	2.3	3.3	2.2	3.3
（５）地域（住民や自治体など）から受け入れられ、良好な人間関係を築けること	3.7	3.9	3.7	3.9	3.7	3.8	3.6	3.7	3.7	3.8	3.5	3.8
（６）地域に心を開ける友達がいること、できること	3.1	3.5	3.1	3.5	3.1	3.4	3.1	3.4	3.1	3.4	3.1	3.4
（７）報酬や活動費などにより、生活に困らないこと	2.9	3.1	3.0	3.1	2.9	3.1	2.9	3.0	2.9	3.0	2.9	3.0
（８）不満や不便を感じない住居に住めること	2.9	3.5	2.8	3.5	2.8	3.5	2.9	3.5	3.0	3.5	2.9	3.4
（９）地域（住民、自治体、NPO法人など）が活動をバックアップしてくれること	3.3	3.2	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.1	3.4	3.2	3.3	3.2
（１０）活動を通じて、任期終了後の生活がイメージできるようになること	3.6	3.0	3.6	3.1	3.6	3.0	3.6	3.0	3.7	3.0	3.6	3.0
総合評価		3.4		3.4		3.3		3.3		3.3		3.5

4. 今後の課題、意向等

質問27　今後の**活動**に向けて、どのようなことが課題だと捉えていますか。

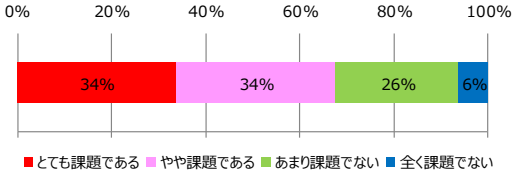
1.　地域の住民とのコミュニケーション、相互理解

選択肢	回答数	割合
とても課題である	513	29%
やや課題である	714	40%
あまり課題でない	462	26%
全く課題でない	107	6%
計	1796	100%



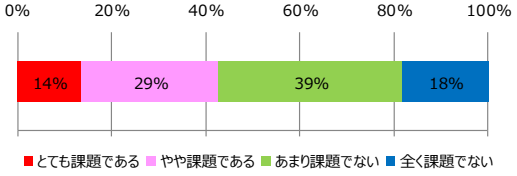
2.　行政職員とのコミュニケーション、相互理解

選択肢	回答数	割合
とても課題である	605	34%
やや課題である	611	34%
あまり課題でない	469	26%
全く課題でない	112	6%
計	1797	100%



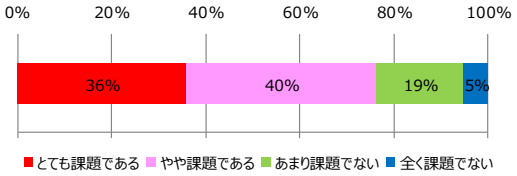
3.　同地域内の他の協力隊員とのコミュニケーション、相互理解

選択肢	回答数	割合
とても課題である	244	14%
やや課題である	521	29%
あまり課題でない	695	39%
全く課題でない	326	18%
計	1786	100%



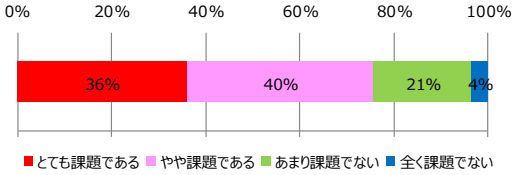
4.　活動に係る技術・知識の習得

選択肢	回答数	割合
とても課題である	645	36%
やや課題である	721	40%
あまり課題でない	335	19%
全く課題でない	93	5%
計	1794	100%



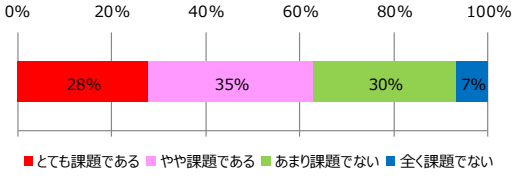
5.　情報発信の充実

選択肢	回答数	割合
とても課題である	644	36%
やや課題である	716	40%
あまり課題でない	371	21%
全く課題でない	65	4%
計	1796	100%



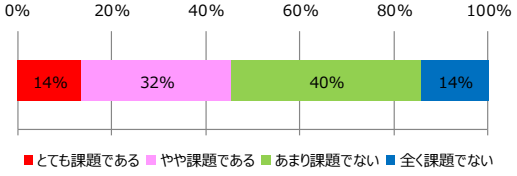
6.　活動量、作業量の軽減、効率化

選択肢	回答数	割合
とても課題である	501	28%
やや課題である	626	35%
あまり課題でない	544	30%
全く課題でない	122	7%
計	1793	100%



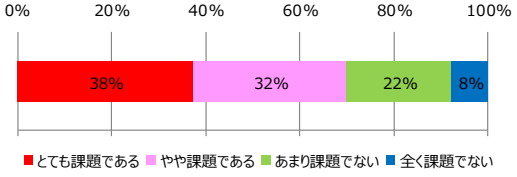
7.　他地域の協力隊員とのコミュニケーション、連携

選択肢	回答数	割合
とても課題である	245	14%
やや課題である	569	32%
あまり課題でない	722	40%
全く課題でない	257	14%
計	1793	100%



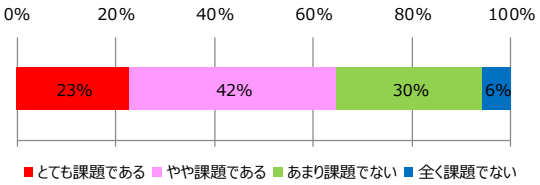
8.　活動目的、活動内容の具体化、明確化

選択肢	回答数	割合
とても課題である	672	38%
やや課題である	579	32%
あまり課題でない	401	22%
全く課題でない	138	8%
計	1790	100%



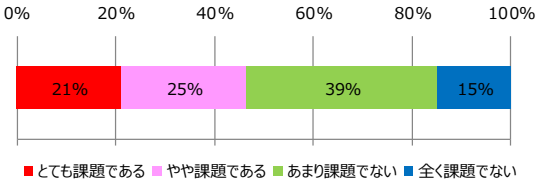
9.　地域の資源、特徴、文化風習等の理解・習得

選択肢	回答数	割合
とても課題である	410	23%
やや課題である	745	42%
あまり課題でない	529	30%
全く課題でない	102	6%
計	1786	100%



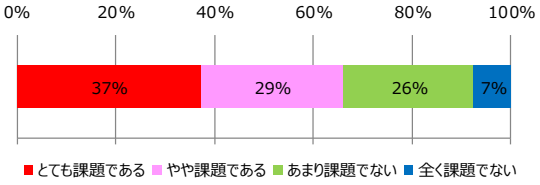
10. 住宅など生活環境の充実

選択肢	回答数	割合
とても課題である	379	21%
やや課題である	453	25%
あまり課題でない	690	39%
全く課題でない	267	15%
計	1789	100%



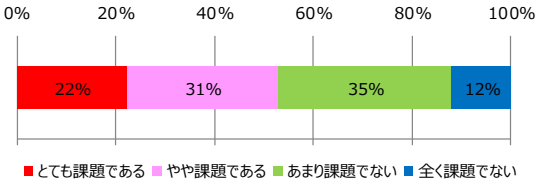
11. 活動資金の確保

選択肢	回答数	割合
とても課題である	666	37%
やや課題である	516	29%
あまり課題でない	474	26%
全く課題でない	134	7%
計	1790	100%



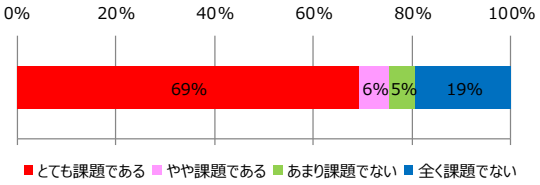
12. 相談窓口の充実

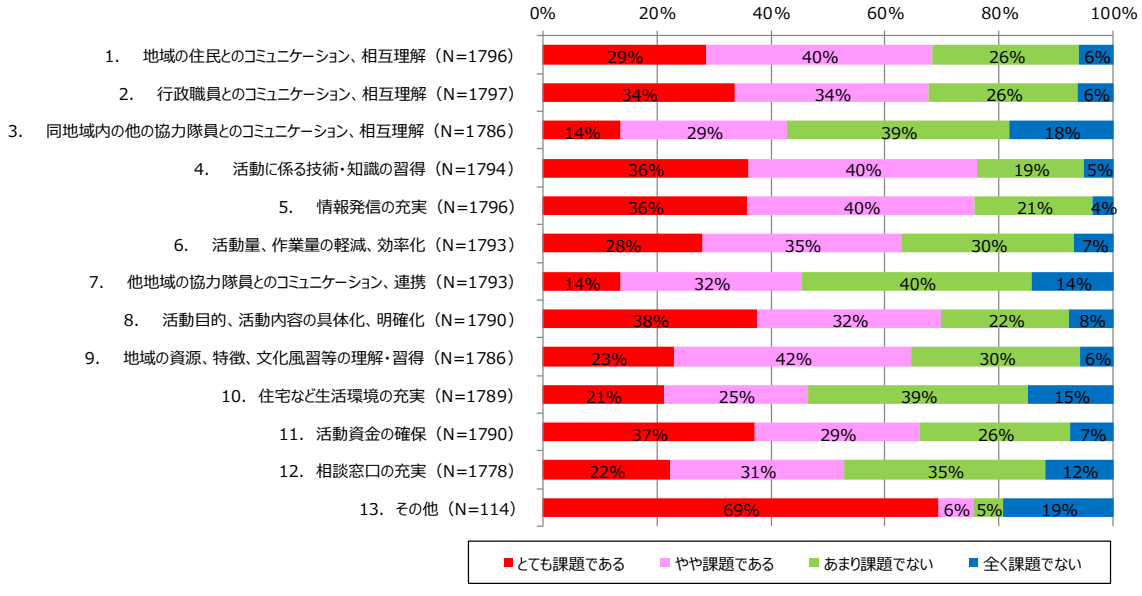
選択肢	回答数	割合
とても課題である	397	22%
やや課題である	543	31%
あまり課題でない	625	35%
全く課題でない	213	12%
計	1778	100%



13. その他

選択肢	回答数	割合
とても課題である	79	69%
やや課題である	7	6%
あまり課題でない	6	5%
全く課題でない	22	19%
計	114	100%

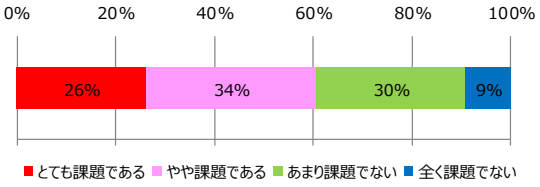




質問28　（今後、定住する意思があるかないかに関わらず、定住することを仮定してお答えください。）
今後の定住に向けて、どのようなことが課題だと捉えていますか。
以下の各項目について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

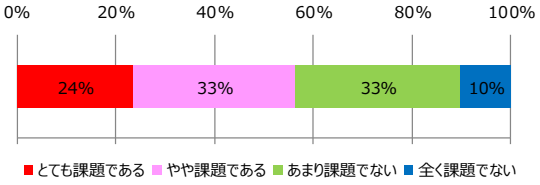
1.　地域の住民とのコミュニケーション、相互理解

選択肢	回答数	割合
とても課題である	469	26%
やや課題である	618	34%
あまり課題でない	540	30%
全く課題でない	167	9%
計	1794	100%



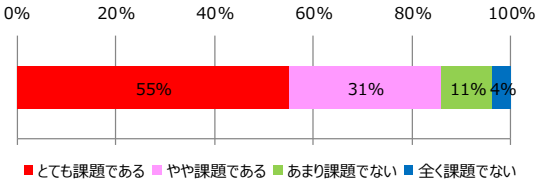
2.　行政職員とのコミュニケーション、相互理解

選択肢	回答数	割合
とても課題である	422	24%
やや課題である	587	33%
あまり課題でない	597	33%
全く課題でない	185	10%
計	1791	100%



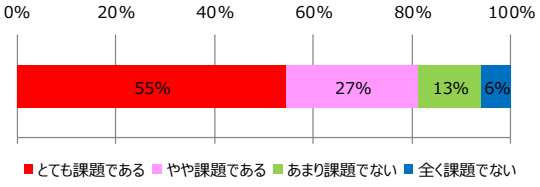
3.　起業・就業・就農に係る技術・知識の習得

選択肢	回答数	割合
とても課題である	989	55%
やや課題である	553	31%
あまり課題でない	189	11%
全く課題でない	66	4%
計	1797	100%



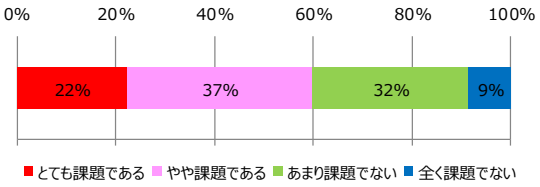
4.　任期後の活動目的、活動内容の具体化、明確化

選択肢	回答数	割合
とても課題である	978	55%
やや課題である	476	27%
あまり課題でない	230	13%
全く課題でない	108	6%
計	1792	100%



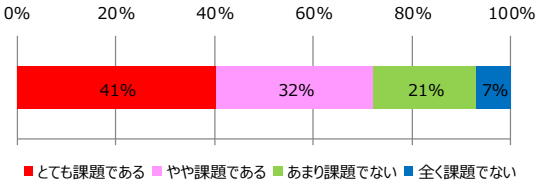
5.　地域の資源、特徴、文化風習等の理解・習得

選択肢	回答数	割合
とても課題である	399	22%
やや課題である	671	37%
あまり課題でない	568	32%
全く課題でない	153	9%
計	1791	100%



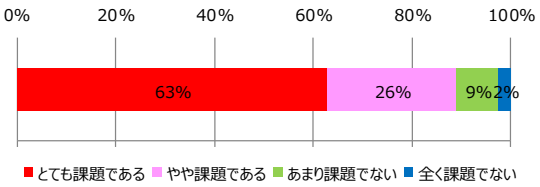
6.　住宅など生活環境の充実

選択肢	回答数	割合
とても課題である	728	41%
やや課題である	567	32%
あまり課題でない	375	21%
全く課題でない	125	7%
計	1795	100%



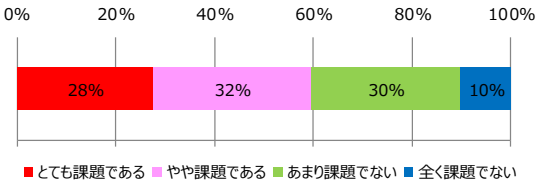
7.　活動資金の確保

選択肢	回答数	割合
とても課題である	1129	63%
やや課題である	468	26%
あまり課題でない	154	9%
全く課題でない	44	2%
計	1795	100%



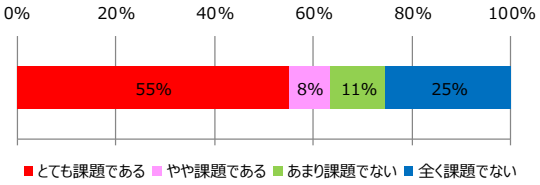
8.　相談窓口の充実

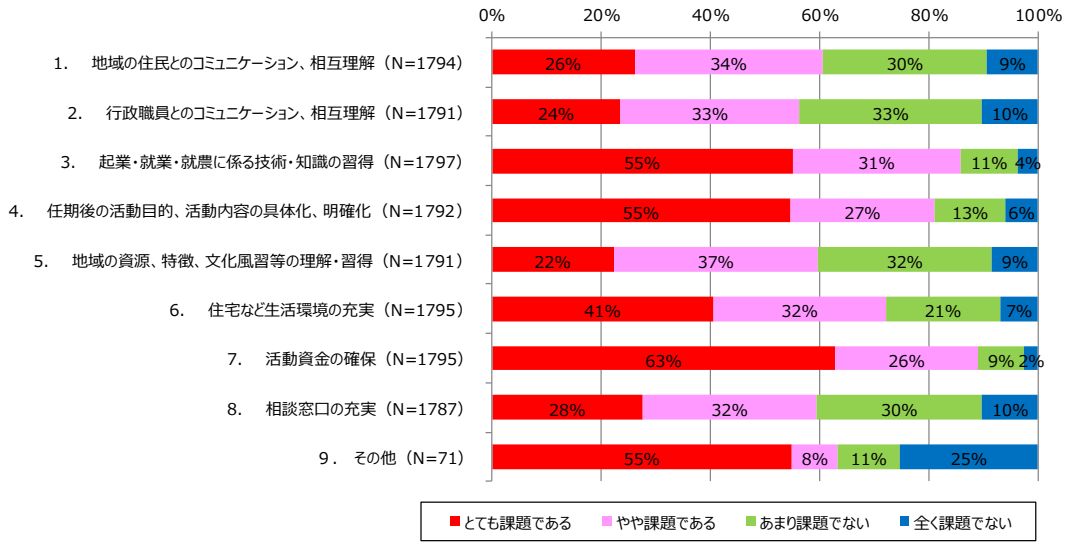
選択肢	回答数	割合
とても課題である	494	28%
やや課題である	568	32%
あまり課題でない	542	30%
全く課題でない	183	10%
計	1787	100%



9．その他

選択肢	回答数	割合
とても課題である	39	55%
やや課題である	6	8%
あまり課題でない	8	11%
全く課題でない	18	25%
計	71	100%

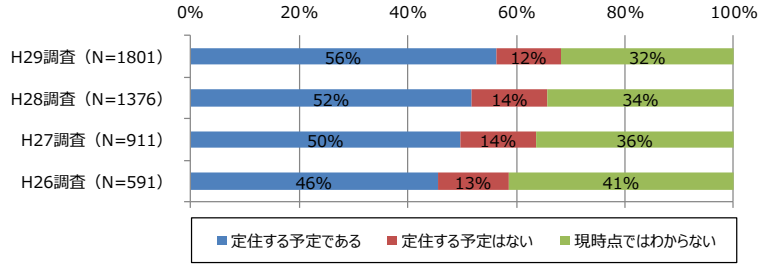




質問29　あなたは、現在の任地での「地域おこし協力隊」としての任期が終了した後、その任地に定住する予定ですか。

（SA）

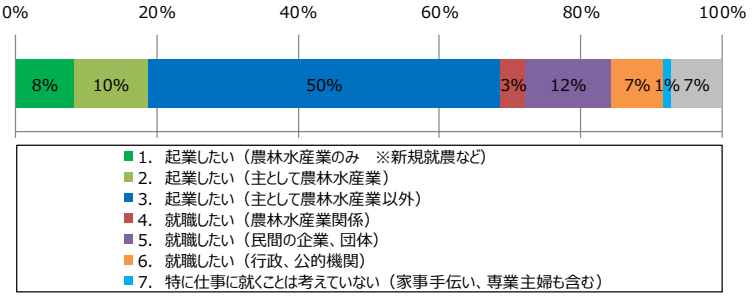
	回答数	割合
1.　定住する予定である	1013	56%
2.　定住する予定は無い	216	12%
3.　現時点ではわからない	572	32%
回答者数	1801	100%

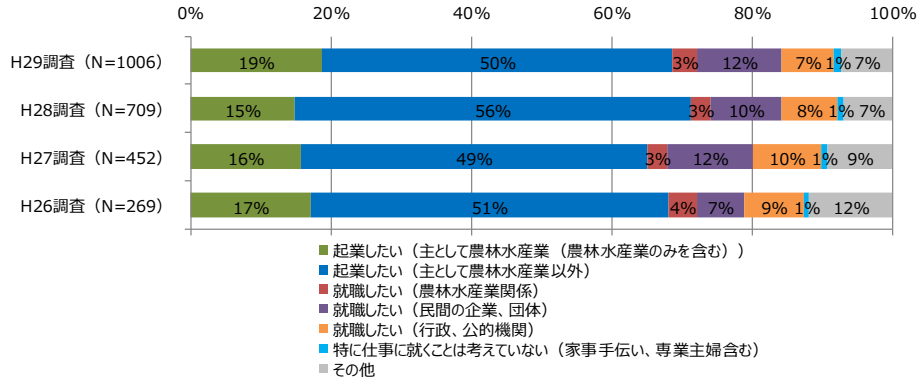


質問30　質問２９で「１．定住する予定である」と答えた方にお伺いします。
現在の活動地に定住する場合、仕事や職業についてはどのようにお考えですか。

（SA）

	回答数	割合
1. 起業したい（農林水産業のみ　※新規就農など）	84	8%
2. 起業したい（主として農林水産業）	104	10%
3. 起業したい（主として農林水産業以外）	503	50%
4. 就職したい（農林水産業関係）	35	3%
5. 就職したい（民間の企業、団体）	121	12%
6. 就職したい（行政、公的機関）	75	7%
7. 特に仕事に就くことは考えていない（家事手伝い、専業主婦も含む）	10	1%
8. その他	74	7%
回答者数	1006	100%

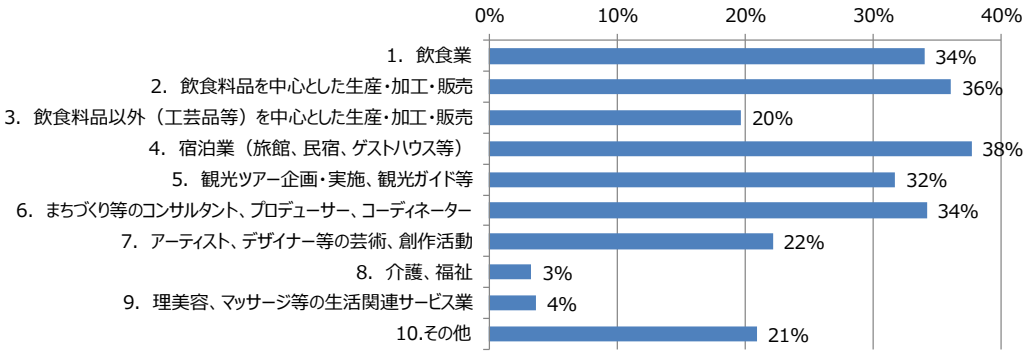




質問31　質問３０で「2．起業したい（主として農林水産業）」又は「3．起業したい（主として農林水産業以外）」を選択した方にお聞きします。
どのような分野・事業での起業を検討していますか。

（MA）

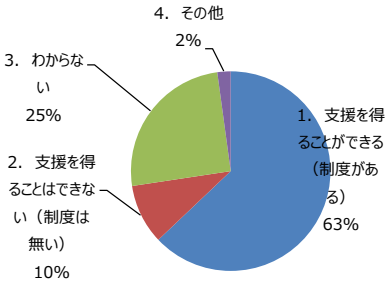
	回答数	割合
1．飲食業	195	34%
2．飲食料品を中心とした生産・加工・販売	207	36%
3．飲食料品以外（工芸品等）を中心とした生産・加工・販売	113	20%
4．宿泊業（旅館、民宿、ゲストハウス等）	216	38%
5．観光ツアー企画・実施、観光ガイド等	182	32%
6．まちづくり等のコンサルタント、プロデューサー、コーディネーター	196	34%
7．アーティスト、デザイナー等の芸術、創作活動	127	22%
8．介護、福祉	19	3%
9．理美容、マッサージ等の生活関連サービス業	21	4%
10.その他	120	21%
回答者数	573	100%



質問32　質問３０で「1．起業したい（農林水産業のみ）」又は「2．起業したい（主として農林水産業）」又は「3．起業したい（主として農林水産業以外）」を選択した方にお聞きします。
活動地の自治体から、起業に必要な資金の支援を得ることはできますか（支援制度はありますか。）

（SA）

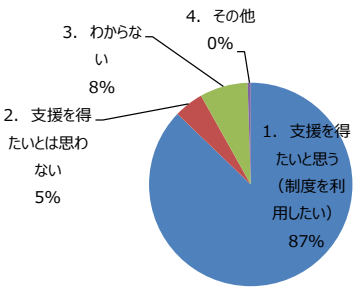
	回答数	割合
1．支援を得ることができる（制度がある）	409	63%
2．支援を得ることはできない（制度は無い）	63	10%
3．わからない	164	25%
4．その他	14	2%
回答者数	650	100%



質問33　質問３２で「1．支援を得ることができる（制度がある）と回答した方にお尋ねします。
起業にあたり、自治体から、起業に必要な資金の支援を得たい（制度を利用したい）とお考えですか。

（SA）

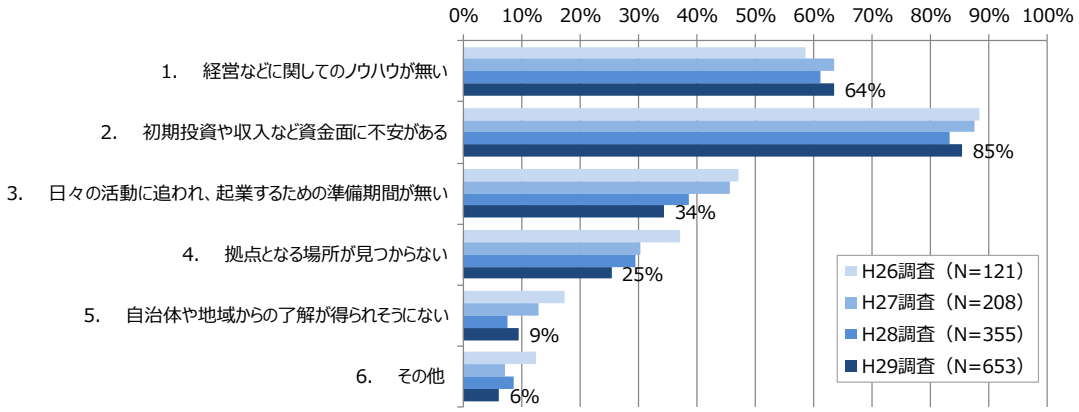
	回答数	割合
1．支援を得たいと思う（制度を利用したい）	354	54%
2．支援を得たいとは思わない	19	3%
3．わからない	31	5%
4．その他	2	0%
回答者数	406	62%



質問34　ひきつづき質問３０で「1．起業したい（農林水産業のみ）」又は「2．起業したい（主として農林水産業）」又は「3．起業したい（主として農林水産業以外）」を選択した方にお聞きします。
起業するうえで、悩んでいること、課題だと思うことは何ですか。

（MA）

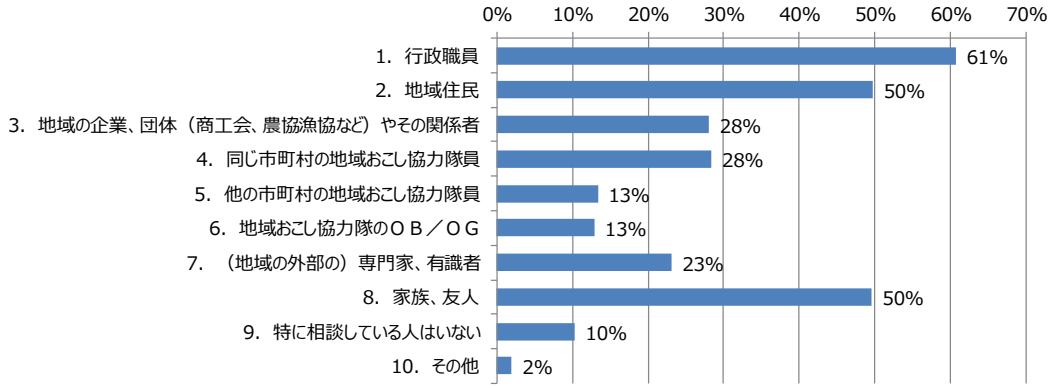
	回答数	割合
1.　経営などに関してのノウハウが無い	415	64%
2.　初期投資や収入など資金面に不安がある	558	85%
3.　日々の活動に追われ、起業するための準備期間が無い	225	34%
4.　拠点となる場所が見つからない	166	25%
5.　自治体や地域からの了解が得られそうにない	62	9%
6.　その他	40	6%
回答者数	653	100%



質問35　ひきつづき質問３０で「1．起業したい（農林水産業のみ）」又は「2．起業したい（主として農林水産業）」又は「3．起業したい（主として農林水産業以外）」を選択した方にお聞きします。
任期後の起業や定住について、どなたに相談していますか。

（MA）

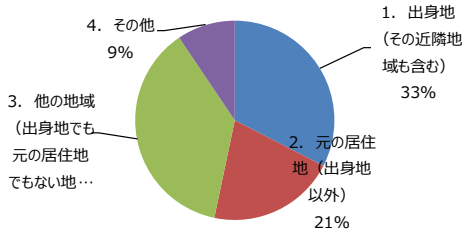
	回答数	割合
1．行政職員	404	61%
2．地域住民	331	50%
3．地域の企業、団体（商工会、農協漁協など）やその関係者	187	28%
4．同じ市町村の地域おこし協力隊員	189	28%
5．他の市町村の地域おこし協力隊員	89	13%
6．地域おこし協力隊のＯＢ／ＯＧ	86	13%
7．（地域の外部の）専門家、有識者	154	23%
8．家族、友人	330	50%
9．特に相談している人はいない	69	10%
10．その他	13	2%
回答者数	665	100%



質問36　質問２９で「２．定住する予定はない」と答えた方にお伺いします。
任期後はどちらに行かれる予定ですか。

（SA）

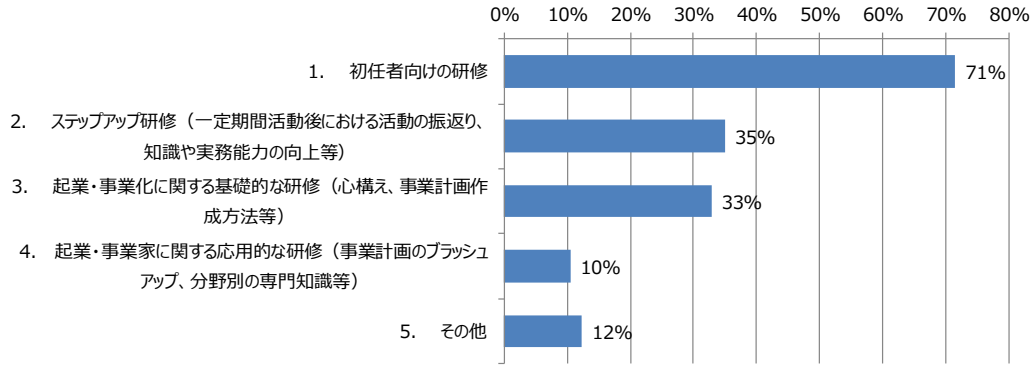
	回答数	割合
1．出身地（その近隣地域も含む）	69	11%
2．元の居住地（出身地以外）	44	7%
3．他の地域（出身地でも元の居住地でもない地域）	79	12%
4．その他	20	3%
回答者数	212	33%



質問37　あなたは、これまで、地域おこし協力隊を対象とした研修について、どのような研修を受講したことがありますか。

（MA）

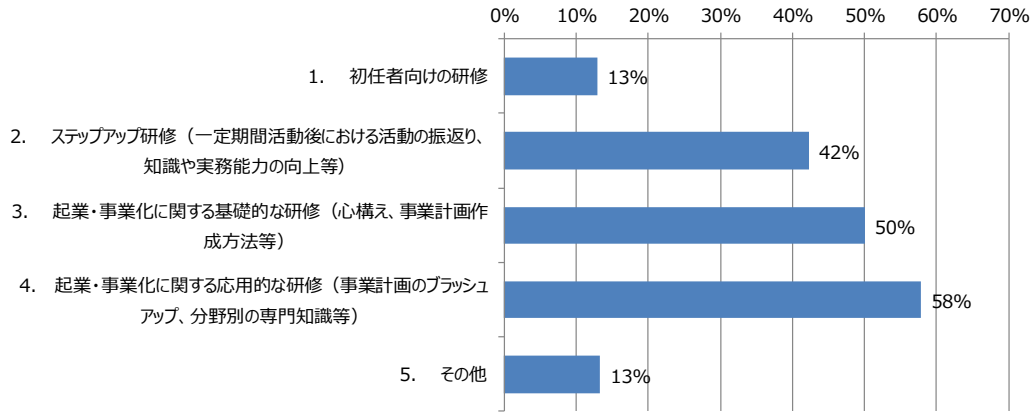
	回答数	割合
1.　初任者向けの研修	1018	71%
2.　ステップアップ研修（一定期間活動後における活動の振返り、知識や実務能力の向上等）	498	35%
3.　起業・事業化に関する基礎的な研修（心構え、事業計画作成方法等）	468	33%
4.　起業・事業家に関する応用的な研修（事業計画のブラッシュアップ、分野別の専門知識等）	149	10%
5.　その他	176	12%
回答者数	1424	100%



質問38　あなたは、今後、地域おこし協力隊を対象とした研修について、どのような研修を受講したいと思いますか。

（MA）

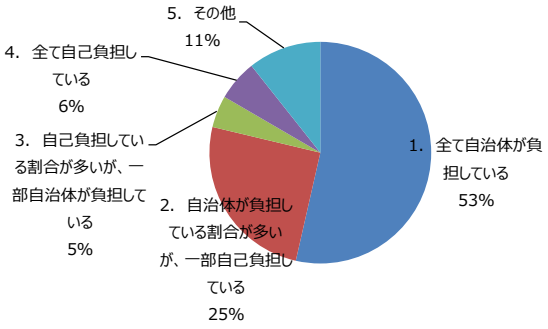
	回答数	割合
1.　初任者向けの研修	192	13%
2.　ステップアップ研修（一定期間活動後における活動の振返り、知識や実務能力の向上等）	627	42%
3.　起業・事業化に関する基礎的な研修（心構え、事業計画作成方法等）	742	50%
4.　起業・事業化に関する応用的な研修（事業計画のブラッシュアップ、分野別の専門知識等）	858	58%
5.　その他	198	13%
回答者数	1484	100%



質問39　あなたが、地域おこし協力隊としての活動や任期終了後の起業・定住に関する研修を受講しようとする場合、経費の負担はどのようになっていますか。
現在の任地に定住しない理由は何ですか。
以下から、あなたの現在のお考えに最も近いものを１つ選び、その番号を回答欄にご記入ください。

（SA）

	回答数	割合
1. 全て自治体が負担している	919	54%
2. 自治体が負担している割合が多いが、一部自己負担している	432	25%
3. 自己負担している割合が多いが、一部自治体が負担している	80	5%
4. 全て自己負担している	102	6%
5. その他	183	11%
回答者数	1716	100%



質問40　あなたが、これまで「地域おこし協力隊」として活動してきた中で印象に残ることや、考えていることなどがありましたら、以下の回答欄にご自由にお書きください。（例えば、うれしかったこと、つらかったこと、活動をより充実させていくために必要だと感じること　など）

＜回答例＞

- 地域おこし協力隊として赴任した２年８ヶ月前と比較して、人間力、知識など自分の能力が上がっているのが実感できています。
- 嬉しかった事・・・地域のおばあちゃんの農作業を手伝って感謝された事。イベント企画し、参加者から本当に楽しかったとお話しがあった事。つらい事・・・こいつはダメだと地域の人に言われた時、人間否定されるつらさを感じた。地域から活動・仕事へのプレッシャーと監視が付きまとう環境。必要だと感じる事・・・受け入れ地域や行政の連携、親身になってくれる相談相手。地域おこしへの行政・地域との意識統一。
- 印象に残ること→前職の経歴を生かしイベントの企画運営をして、参加者と楽しい時間を共有できたこと。考えていること→市民の方からもいろんなアイデアをいただきますが、地域おこし協力隊という名前で、なんでも関わると思われていること。
- どこからプライベートでどこから仕事なのかあいまいな部分は非常に多く、自分の中で線引きをした方が楽な場合もある。自分が言えないこと、言いづらいことは役場から言ってもらう方がいい時もある
- １年目は、自分が就任以前から行ってきた活動は認めてもらえていなかったため、１年をかけて摺り寄せをおこなってきた。そのことが実り、理解され始めてきたので、来年からは、思い切ってその活動も自分の主活動に組み込んで軸にしていきたいと思っている。もちろん、周囲の理解に乖離するものではなく、理解を得ながら、よい関係で進めている。本当にそのことが地域にとって必要なのか、求められているのか、合っているのか、都度ふり返り、対話を続けながらやっていきたい。
- 自分の覚悟が足らず、地域に入ってしばらくは、原因不明の心因で過食になり、ようやく少しずつ自力で回復できてきた。周囲で悪いことをする人間が居るという訳では全くなく、あくまで自分自身が要因ではあるので、大いに勉強にはなったと思っている。
- 今後の活動が自分の将来の中でどの様に生かすことが出来るかを考えなければいけないと感じ始めている。
- デザイナーという特殊な職種でしかも未経験であるにもかかわらず、今自分が充実した仕事を行えているのは赴任先の団体が受け入れる体制をしっかりと整えてくれているからだと感じています。明確な仕事の指示やコミュニケーション、スキルアップ研修など、この地域で働くために様々なサポートを行っていただき、任期終了後もできればこの職場で働きたいと考えています。
- 地域おこし協力隊とは、赴任先の人手不足解消のためではなく、その地域のための制度です。ただ制度を利用するのではなく、受け入れ団体は受け入れる体制づくりを、そしてその受け入れ体制を作る団体へのサポートが求められていると思います。

III. 地域おこし協力隊の現状と課題（集計概要と総括）

地域おこし協力隊の現状と課題

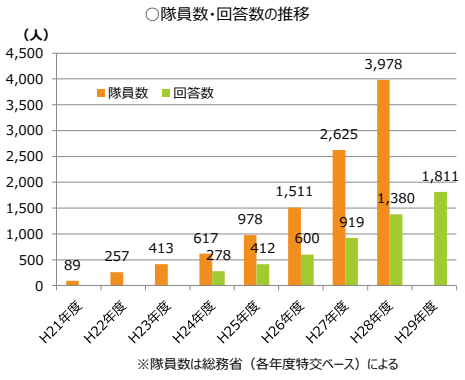
~H29年度　JOIN地域おこし協力隊アンケート集計結果の概要

DBJ 株式会社価値総合研究所
日本政策投資銀行グループ

H29年度地域おこし協力隊アンケート調査の実施概要

DBJ 株式会社価値総合研究所

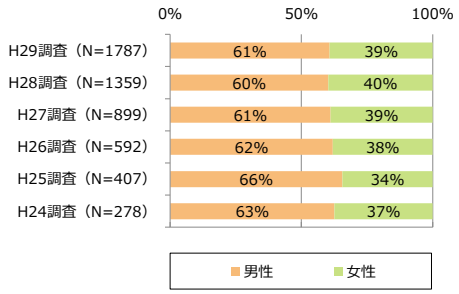
- 対象：全国の地域おこし協力隊員
- 方法： 総務省から都道府県→市町村経由で隊員に電子ファイルを配布
  回収は隊員からJOINアンケート返信アドレスに直接送信
- 調査時期：平成29年11月16日~12月8日
- 回収数：1,811名
  <参考>平成24年度調査　回収数：　278名
  平成25年度調査　回収数：　412名
  平成26年度調査　回収数：　600名
  平成27年度調査　回収数：　919名
  平成28年度調査　回収数：1,380名
  ※回収数は速報値であり、今後変更となる可能性があります
- 調査項目
  - 基本属性
    - 性別、年齢、現在の任地、前住所、委嘱時期　等
  - 応募の理由、情報入手手段
  - 活動状況（活動内容、活動費、兼業・副業　等）
  - 活動の評価（期待度、満足度）
  - 任期終了後の意向　　等



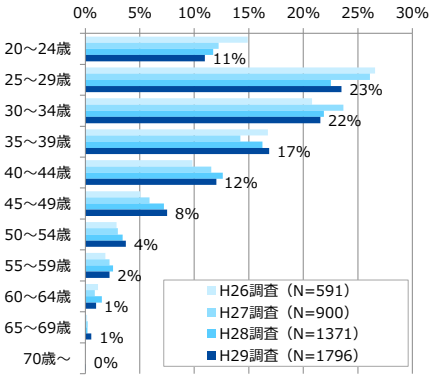
※隊員数は総務省（各年度特交ベース）による

1．回答者の属性①　（性別、年齢）

○性別



○年齢



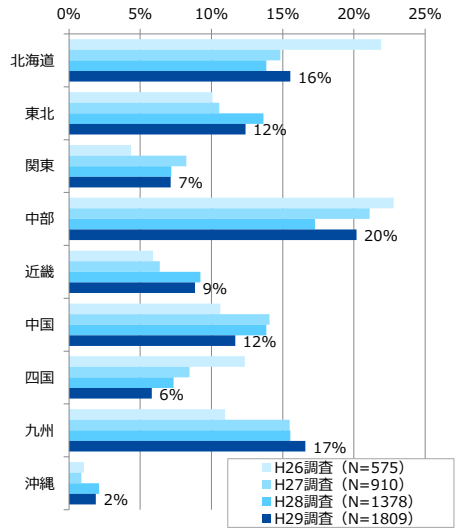
•年齢は、20代の割合が低下し、40代以降の割合が上昇している

<回答者平均年齢>

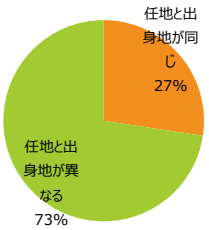
回答者平均年齢（H29）	34.7歳
H28調査	34.7歳
H27調査	33.7歳
H26調査	33.2歳

1．回答者の属性②　（任地、着任時期）

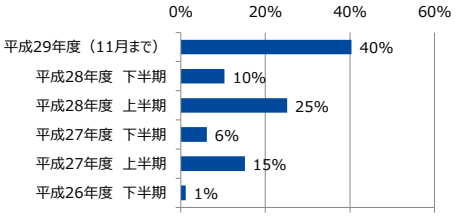
○任地（居住地）



○任地と出身地との関係



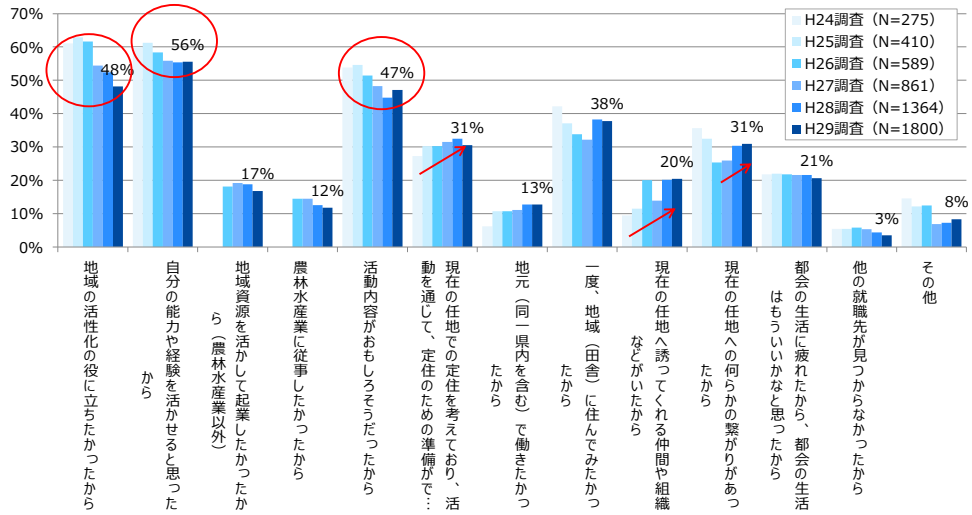
○着任時期



2．地域おこし協力隊に応募した理由

DBJ 株式会社価値総合研究所

•「自分の能力や経験を活かせる」「地域の活性化の役に立ちたい」「活動内容がおもしろそう」といった理由が多いが、これらの割合は減少傾向となっている。
•近年は「定住のための準備」「誘ってくれる仲間がいた」といった理由の割合が上昇してきている。

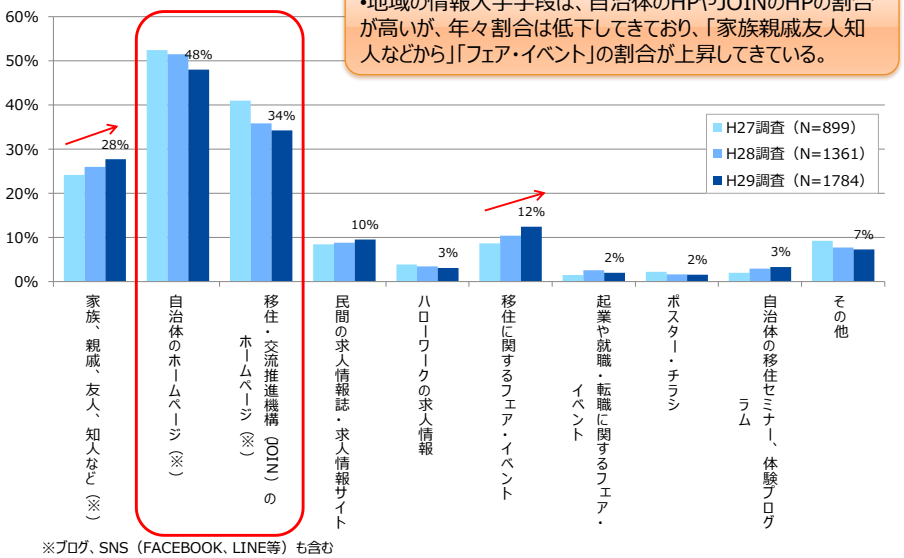


3．地域おこし協力隊に関する情報の入手手段

DBJ 株式会社価値総合研究所

○現在活動している地域の募集情報や地域情報などの入手先

•地域の情報入手手段は、自治体のHPやJOINのHPの割合が高いが、年々割合は低下してきており、「家族親戚友人知人などから」「フェア・イベント」の割合が上昇してきている。



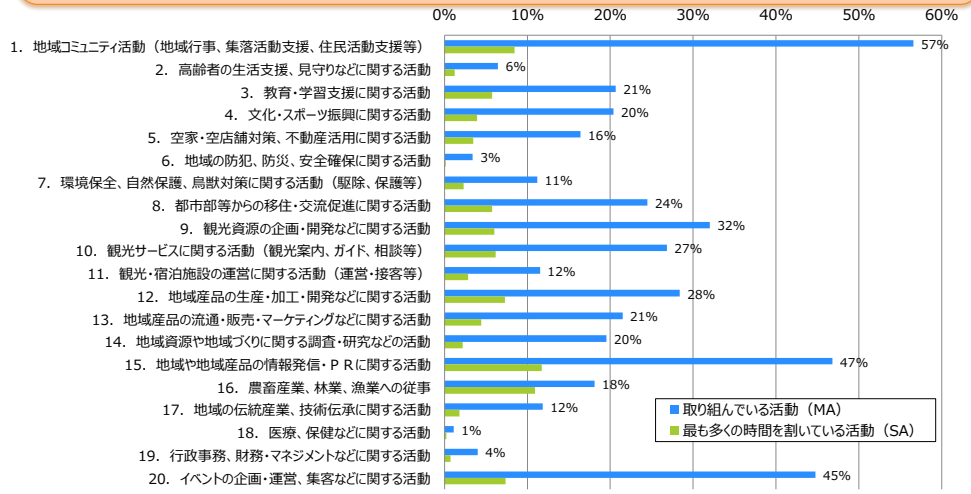
※ブログ、SNS（FACEBOOK、LINE等）も含む

４．地域おこし協力隊としての活動状況①【取組んでいる活動】

株式会社価値総合研究所

○現在取組んでいる活動

•取組んでいる活動としては、「地域コミュニティ活動」が57%で最も高く、次いで「情報発信・PR」「イベント」の順となっているが、最も多くの時間を割いている活動としては、「情報発信・PR」が最も高い。
•「農畜産業、林業、漁業」は、取組んでいる活動としての割合は低いが、最も多くの時間を割いている活動としての割合は高く、専業・主業として取り組む隊員が高いことがうかがえる。

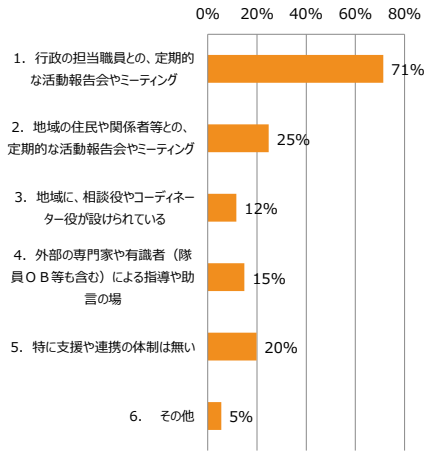


４．地域おこし協力隊としての活動状況②【支援や連携の体制】

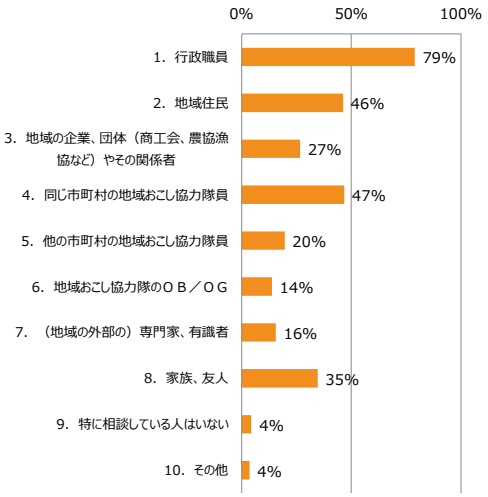
株式会社価値総合研究所

•行政職員とのミーティングは7割となっているが、「支援や連携の体制が無い」も2割見られる。
•相談相手は、行政職員のほか、地域住民、隊員同士の割合も高い。

○活動における支援や連携の体制（N=1787）



○日々の活動の相談相手（N=1806）

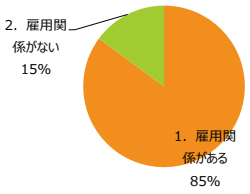


5．地域おこし協力隊としての活動状況③【雇用形態・活動費】

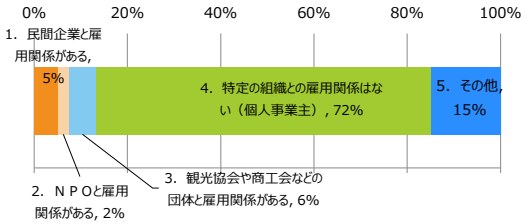
DBJ 株式会社価値総合研究所

•「自治体との雇用契約あり」が8割超
•雇用関係なし（個人事業主）は全体の約1割

○自治体との雇用関係（N=1800）

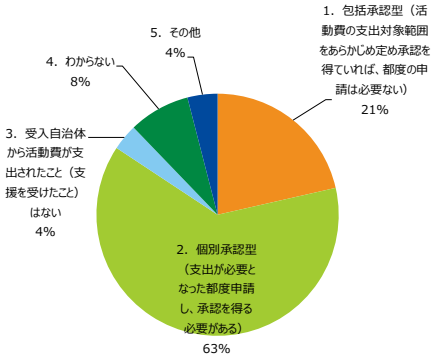


○自治体以外との雇用関係（N=255）



•活動費の支出は「個別承認型」が６割

○活動費支出時の手続き（N=1796）

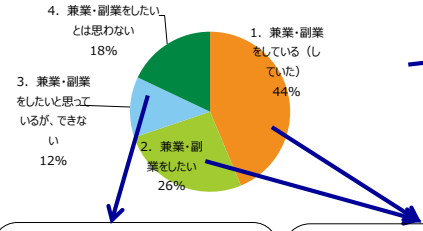


5．地域おこし協力隊としての活動状況④【兼業・副業】

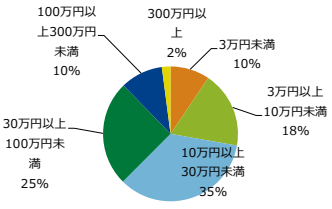
DBJ 株式会社価値総合研究所

・兼業・副業経験がある隊員は4割

○兼業・副業の有無（N=1799）

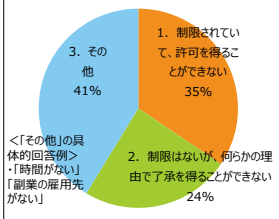


○（兼業・副業による副収入がある場合）昨年度の収入額（N=677）

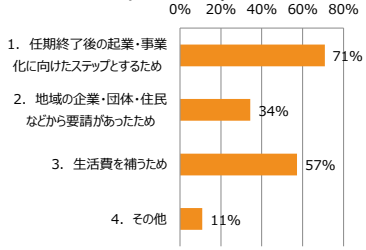


平均収入額（1円以上の収入があった隊員）：41 万円

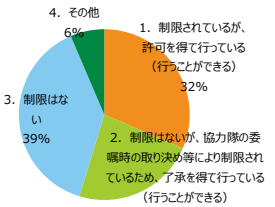
○兼業・副業ができない理由（N=206）



○兼業・副業をする理由（N=1240）



○兼業・副業をする場合の制限（N=1230）

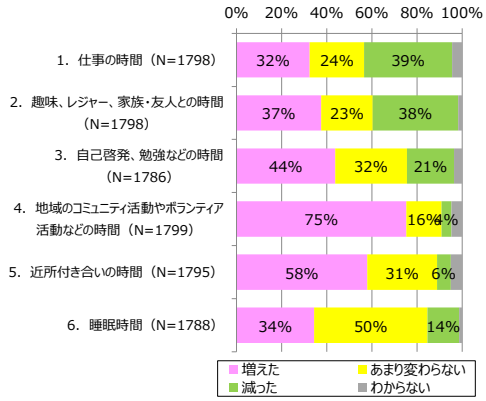


5．地域おこし協力隊としての活動状況⑤【生活の変化】

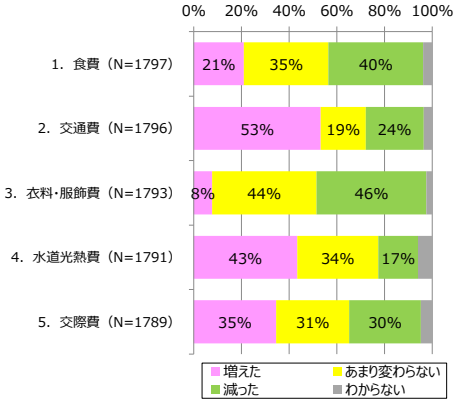
DBJ 株式会社価値総合研究所

【時　間】・地域のコミュニティ活動やボランティア活動、近所づきあいの時間は半数以上が「増えた」と回答
・仕事の時間、趣味・レジャー、家族・友人との時間は「減った」が多い
【生活費】・交通費は半数以上が「増えた」と回答
・食費、衣料服飾費は「減った」が多い

○赴任前と比較しての時間の使い方の変化



○赴任前と比較しての生活費の変化



6．地域おこし協力隊としての活動への評価（期待度・満足度）

DBJ 株式会社価値総合研究所

期待度＞満足度　（差が0.5ポイント以上）

期待度＜満足度　（差が0.5ポイント以上）

※各設問の回答を右記により点数化し、平均点を算出

①事前の「期待度」
5：とても期待していた
4：やや期待していた
3：どちらともいえない
2：あまり期待していなかった
1：全く期待していなかった
高い
低い

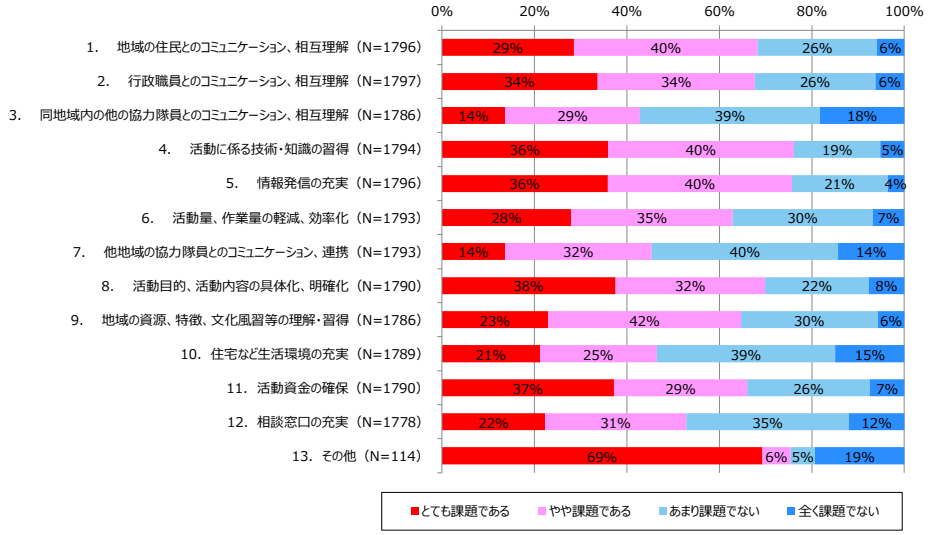
②現在の「満足度」
5：とても満足
4：やや満足
3：どちらともいえない
2：やや不満
1：とても不満
高い
低い

項目（期待や満足の視点）	平成24年調査（N=278）		平成25年調査（N=412）		平成26年調査（N=600）		平成27年調査（N=891）		平成28年調査（N=1360）		平成29年調査（N=1797）	
	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度	期待度	満足度
（1）活動を通じて、自己実現を感じられること	3.9	3.4	4.1	3.3	4.0	3.3	4.0	3.2	4.0	3.3	4.0	3.4
（2）活動そのものがおもしろいこと	3.9	3.7	4.1	3.7	4.1	3.7	4.1	3.6	4.1	3.6	4.1	3.7
（3）地域（住民や自治体など）から自分の活動や働きが認められ、評価されること	3.1	3.2	3.1	3.4	3.1	3.3	3.1	3.3	3.2	3.3	3.1	3.3
（4）地域の広報誌やマス媒体などで取り上げられたり、注目されたりすること	2.2	3.3	2.3	3.4	2.2	3.3	2.3	3.3	2.3	3.3	2.2	3.3
（5）地域（住民や自治体など）から受け入れられ、良好な人間関係を築けること	3.7	3.9	3.7	3.9	3.7	3.8	3.6	3.7	3.7	3.8	3.5	3.8
（6）地域に心を開ける友達がいること、できること	3.1	3.5	3.1	3.5	3.1	3.4	3.1	3.4	3.1	3.4	3.1	3.4
（7）報酬や活動費などにより、生活に困らないこと	2.9	3.1	3.0	3.1	2.9	3.1	2.9	3.0	2.9	3.0	2.9	3.0
（8）不満や不便を感じない住居に住めること	2.9	3.5	2.8	3.5	2.8	3.5	2.9	3.5	3.0	3.5	2.9	3.4
（9）地域（住民、自治体、NPO法人など）が活動をバックアップしてくれること	3.3	3.2	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.1	3.4	3.2	3.3	3.2
（10）活動を通じて、任期終了後の生活がイメージできるようになること	3.6	3.0	3.6	3.1	3.6	3.0	3.6	3.0	3.7	3.0	3.6	3.0
総合評価		3.4		3.4		3.3		3.3		3.3		3.5

7．今後の活動に向けての課題

DBJ 株式会社価値総合研究所

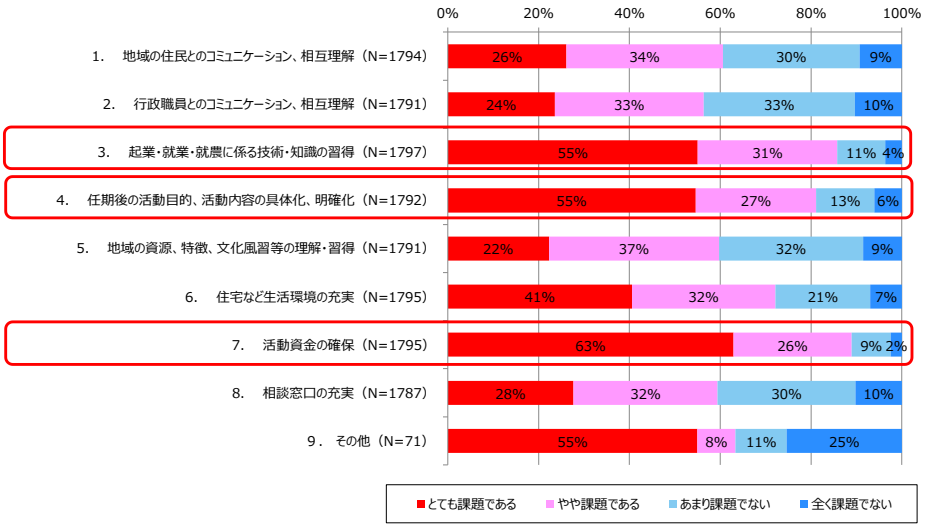
•今後の活動に向けての課題としては、ほとんどの項目で５割以上の隊員が課題（とても課題＋やや課題）としいるが、特に「技術・知識」「情報発信」「活動目的、内容の具体化明確化」を挙げる隊員が多い。



8．今後の定住に向けての課題

DBJ 株式会社価値総合研究所

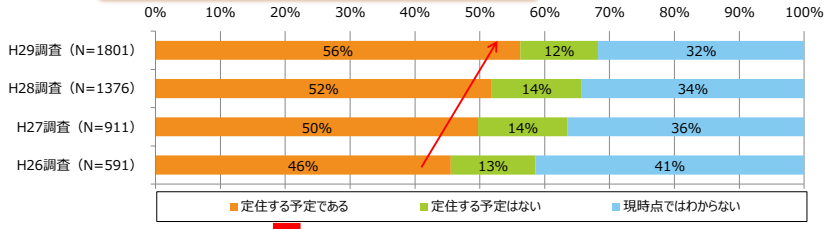
•定住に向けての課題としては、「技術・知識」「活動目的、内容の具体化明確化」「活動資金の確保」が8割を超えてており特に多い。



9．任期終了後の意向

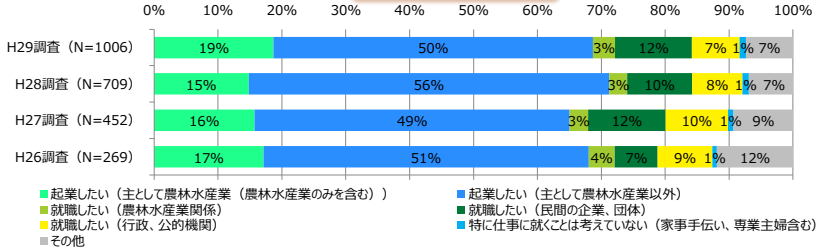
○定住意向

•定住予定の割合は約6割で年々増加傾向



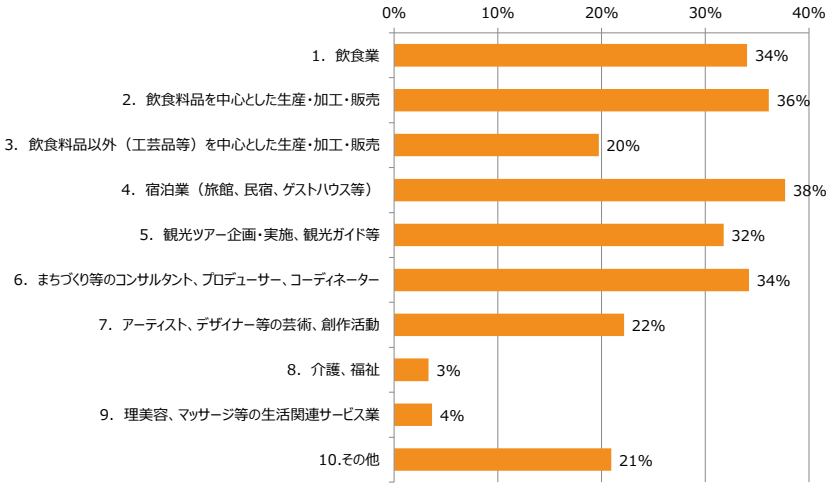
○（定住予定の場合の）仕事の意向

•起業意向は約7割



10．起業意向②

○（起業したい場合の）事業分野（SA･N＝573）

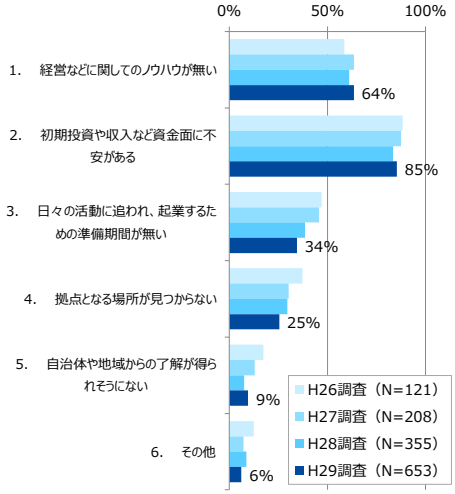


11. 起業にあたっての課題

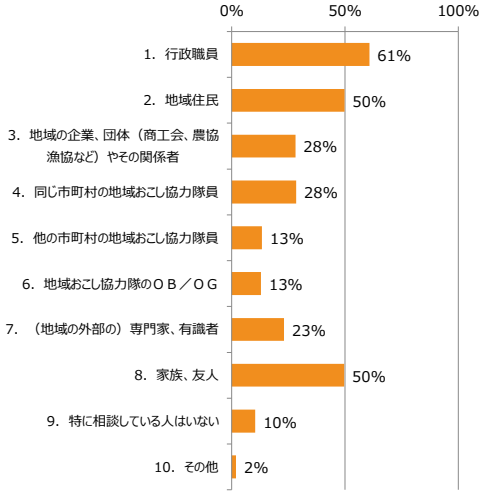
DBJ 株式会社価値総合研究所

•8割超が、「資金面に不安」で、相談者は「行政職員」が6割

○（起業したい場合の）課題・悩み



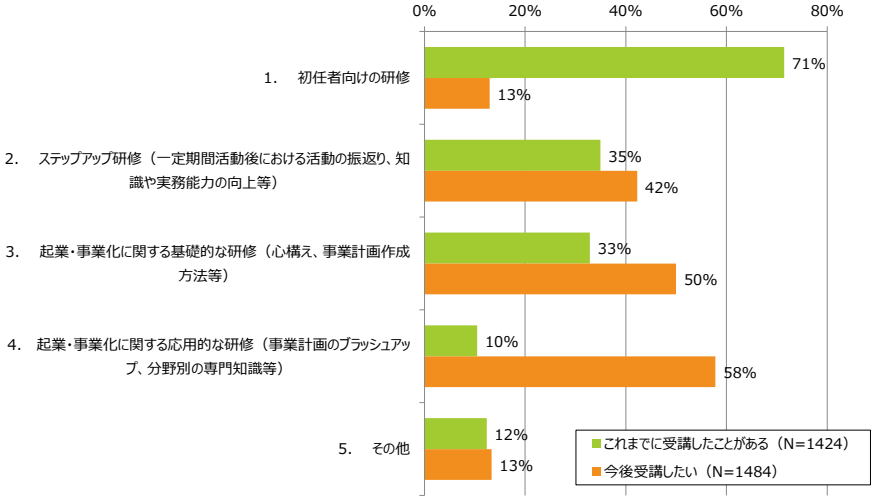
○（起業したい場合の）相談者（N=665）



12. 研修のニーズ

DBJ 株式会社価値総合研究所

•半数以上が、起業・事業化に関する研修の受講を希望している



13. 協力隊アンケート調査の総括

DBJ 株式会社 価値総合研究所
日本政策投資銀行グループ

募集・採用

◆**地域おこし協力隊になる理由**
- 「地域の役に立ちたい」、「自分の経験を活かしたい」、「面白い活動をしたい」といった理由が多いが、最近は「定住の準備」「地域とのつながりがあった」といった理由も増えている

◆**応募のプロセス**
- 地域の募集情報は、自治体やJOINのホームページからの入手が多いが、身近な人やフェア・イベントから入手するケースも増えている。

活動

◆**活動内容**
- 地域のコミュニティ支援、生活支援といった地域内のサポート的活動から、情報発信、移住交流など地域外との関係づくり等の活動が多い
- 農林漁業は、専業的に取り組む割合が高い
- 着任前と比べて、地域との付き合い等の時間が増加
- 約4割が副業・兼業を行っており、その理由としては任期後に向けたステップが7割、生活費の補てんが6割

◆**活動の評価（期待と満足）**
- 自己実現、面白さは、期待ほどの満足は得られていない
- 一方、生活環境、注目度は、期待以上の満足を得ている

◆**活動の課題**
- 技術・知識の習得や活動の目的・内容の明確化を課題として挙げる隊員が多い

終了・定住

◆**定住に向けた課題と意向**
- 定住に向けては、技術・知識の取得、任期後の活動目的・内容の具体化及び資金の確保を課題として挙げる隊員が多い
- 定住意向を持つ隊員が約6割で、その割合は上昇している。
- 起業意向を持っている隊員の８割が、資金面の不安を有している

平成 29 年度　地域おこし協力隊に関する調査　調査研究報告書

＜調査実施機関＞　株式会社価値総合研究所
東京都千代田区大手町１丁目９番２号
大手町フィナンシャルシティ　グランキューブ 15 階